

域を対象とした包括的な業務委託や公開競争入札などを継続的に実施し、支払率と衛星契約割合向上を図った。

17年度末の放送受信契約件数は、17年度当初627万に対して、10万9,000件の増加を確保し、637万9,000件となった。また、衛星契約件数においても、17年度当初305万件に対し、11万7,000件の増加を確保し、17年度末には316万8,000件となった。併せて、事業所契約活動へも、民事調停を活用する等、積極的に取り組み、3万1,000件の増加を確保し、当初の年間計画を超える実績を確保できた。さらに、訪問によらない営業活動による受信契約取り次ぎ数の向上を目指すため、ケーブル事業者、不動産会社等、特約店型法人委託との連携の強化と新たな取り組みとして、ポスティングDM等を活用することで、16年度以上の業績を確保することができた。

民事関連手続きにおいては、簡易裁判所への支払い督促の申し立てと合わせ、17年度においては、未契約世帯・事業所に対しても民事訴訟を実施し、公平負担の徹底に努めた。

## 近

## 畿

### I. 放送

#### 1. 放送の概要

##### (1) 関西および全国の安全・安心を守る

「本部バックアップ機能の強化」に向けて、マニュアル送出・緊急報道対応を強化したNCニュース卓での初動送出訓練を年1回(9.1)実施した。また、平日午後2時台の全中ニュースを、大阪局のニューススタジオから原則毎日制作・送出したほか、放送センター機能停止時における大阪局の2か国語放送の実施体制の構築に向けて、総合テレビの日曜午後8時台の管中ニュースで2か国語放送を18回実施した。さらに、大阪局に整備された同時通訳ブースの設備・機材を、平時から放送などに活用して緊急時の対応に備えるために、地域経済番組『ルソンの壺』の素材を活用したニュース企画を収録し、『NEWSROOM TOKYO』の中で放送した。

阪神・淡路大震災については、全国放送では、『関西発ラジオ深夜便』(R1, 1.13)、『あさイチ』[「もし大地震が起きたら」目からウロコの防災講座](G, 1.17)、『NHKスペシャル』[「遺児たちのいま 阪神・淡路大震災23年」](G, 1.17)を放送した。また、1月17日には、災害から23年目を迎えた神戸の街の様子を、発災時刻を中心に『NHKニュース おはよう日本』枠内にて中継で伝えたほか、『NHKニュース7』『ニュースウオッチ9』をはじめとする各番組でも当日の動きを伝えた。

近畿ブロック放送では、『ニュースほっと関西』枠内でカメラマングループの4Kプロジェクト「震災アーカイブプロジェクト」を16年度に引き続き展開したほか、同企画を2分ミニ番組として再構成し、年明けから1月17日に向けて随時放送した。また、震災前後に『おはよう関西』『ニュースほっと関西』『ウイークエンド関西』等の各定時番組で、震災関連企画を集中的に放送した。『かんさい熱視線』[「私の震災」を遺(のこ)すー阪神・淡路大震災23年ー](G, 1.12)では、阪神・淡路大震災の資料収集を続けている神戸市の「人と防災未来センター」に資料を寄贈して「生きた証」を残そうとする人たちの思いを追った。

甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」については、全国向けの番組として、『防災の日ラジオ特集 大阪発お笑いサバイバル 南海

トラフ巨大地震」(R1, 9.1)を放送。南海トラフ巨大地震から命を守るにはどうすればよいのか、サバイバルドラマを通して伝えた。近畿ブロック向けには、平日夕方6時台の番組『ニュースほっと関西』で、防災や減災に関する企画を年間通して随時放送した。このほか、障害者など支援が必要な人々へのいまだ進まない災害時の避難対策について考えた『バリバラ』「震災からいのちを守る」(E, 3.4)を放送した。

## (2) 視聴者の信頼に応える公平・公正、正確・迅速な報道

夕方6時台の各府県向けのニュース情報番組『ニュースほっと関西』は、6時10分から6時30分までは関西一円のニュースやスポーツ情報を伝えるブロック単位の時間帯、6時30分以後は域内の各放送局から地域のニュースを伝える府県単放送の時間帯とした。各府県単放送では、大阪局は『ニュースほっと関西』、各局は『ニュース630京いちにち』(京都)、『ニュースKOBELIVE』(神戸)、『あすのWA!』(和歌山)、『ならナビ』(奈良)、『おうみ発630』(大津)をそれぞれ放送した。

第48回衆議院議員選挙(10月10日公示、10月22日投票日)は、近畿2府4県で、小選挙区と比例を合わせて自民党が42議席を獲得し、選挙前の38議席から4つ増えたほか、公明党も1つ増やし、10議席を確保した。野党においては、日本維新の会が8議席(選挙前から3減)、立憲民主党は6議席となった。開票速報は、同日夜間に台風が近畿に上陸したため、台風中継を編成しつつ放送した。総合テレビでは、近畿ブロックと大阪単の合計が3時間11分55秒、ラジオでは近畿ブロックでの上乘せが2時間36分46秒だった。

## (3) 地域の課題に向き合い、視聴者の期待に応える番組

金曜午後7時30分からの報道番組『かんさい熱視線』では、関西の視聴者が関心を持つさまざまな事象や注目すべきニュースを素早く深く掘り下げながら、関西の“今”を伝えた。17年3月に国が定めた「働き方改革実行計画」の中で試行錯誤を始めた企業の「理想」と「現実」に迫った、「働き方 変えられますか? ~企業と社員の大改革~」(5.12)や「先生たちの働き方改革」(9.22)を放送。また、社会問題にもなった危険な“あおり運転”の近畿地方での実態を検証し、遭遇した時の対処法についても考えた「多発する“あおり運転”あなたならどうする?」(11.24)を放送。さらに、万博誘致を目指す大阪府のバリでのプレゼンの舞台裏や万博誘致の現状と課題に迫った

「2025万博-大阪は何を描くのか-」(6.16)を放送した。このほか、大阪の府立高校に通う女子生徒が、生来茶色の髪を黒く染めるよう指導され、精神的苦痛を受けたとして、起こした裁判を巡りこうした指導はなぜ行われているのかについて、教育現場の実態を取材、生徒指導の在り方を考えた「“頭髪指導”あなたはどうか考える?」(12.8)を放送した。

また、関西の底力を発信する『かんさい元気印』(G, 10.20)では、関西それぞれが誇る“食”を徹底取材し、関西を“食”で元気にする可能性を探った。

16年度に続き、自転車事故が多発している大阪府の現状を踏まえて、大阪局では「STOP! 危ない自転車キャンペーン」を展開した。春と秋の全国交通安全運動期間中を中心に、『ぐるっと関西おひるまえ』で、アイドルグループ・NMB48をゲストに啓蒙したほか、自転車の正しい乗り方や交通ルールを啓蒙する1分ミニ番組を総合テレビで随時編成した。

## (4) 地域の活性化に貢献する放送の実現

土曜午前10時台には、6年目を迎えた旅番組『ええトコ』を放送。関西各地に暮らす人々と旅人とのふれあいを通して、その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を丁寧に描いた。

日曜午後1時台には、大阪局発の若者向け番組として『まちけん参上! ~あなたの街のおもしろ検定~』を新設。地元の学生たちに関西の街のさまざまな魅力をリサーチしてもらい、芸人がクイズを出題して地元の知られざる魅力を紹介した。

11年目の地域経済番組『ルソンの壺』は、16年度に引き続き月1回・40分の放送を継続し、関西企業の強みや魅力、企業哲学や発想の極意を多角的に紹介した。

平日午前の『ぐるっと関西 おひるまえ』は、14年度から取り組んだ番組冒頭でのデータ放送の双方向演出「ぐるかんラッキーベル」を継続して実施した。

定時の全国放送番組では、『NHK歌謡コンサート』を刷新した音楽番組『うたコン』をNHK大阪ホールなどから年間9本生放送したほか、『助けて! きわめびと』を定時番組として継続し、大阪局の全国発信を強化した。

放送日時を金曜午後8時台に移設した『歴史秘話ヒストリア』は、9年目を迎えた歴史番組として、歴史上の人間ドラマや感動秘話を幅広く取り上げながら、バラエティーあふれるラインアップで家族そろって楽しめる番組を目指した。18年1

月からスタートした『大河ドラマ』「西郷どん」にちなんだ企画として、『歴史秘話ヒストリア』「西郷どんのイロハ 維新の英雄・3つの愛」(1.5)を、ドラマのスタートに併せて放送した。

このほか、『バラエティー生活笑百科』『かんさい土曜ほっとタイム』『上方演芸会』などを制作した。

鉄道会社沿線の“鉄道名所”を巡りながら難問に挑む鉄道クイズ番組『鉄オタ選手権～京阪電車の陣～』(G, 4.15), 『鉄オタ選手権～近鉄電車の陣～』(G, 10.1)を放送し、鉄道を通じてそれぞれの地域を紹介した。

NHK大阪ホールを活用した番組では、事業イベント「BKワンダーランド」と連携した企画として、若者向け特集番組『ヤングナフェス@OSAKA』(G, 11.27)を公開収録し、人気ミュージシャンたちがスペシャルライブを通じて若者たちにエールを送った。同番組は、12月16日深夜の総合テレビで全国に向けても放送した。また、大阪発の視聴者参加型お笑い開発番組として、『谷4爆笑養成所』(G, 6.3)を放送。3組の若手芸人たちがスマートフォンと生放送でネタを披露し、いちばん面白いコンビをスマートフォンやホームページ、データ放送を使った視聴者の投票で決める“視聴者参加型番組”として展開した。そのほか、地域特集番組『漫才祭り』や『上方落語の会』などを収録、『第48回NHK上方漫才コンテスト』(G, 3.2)を生放送した。“上方落語”については、地域特集番組として、『桂文枝の落語新世紀2018』(G, 1.3)でも取り上げた。

『連続テレビ小説』「わろてんか」では、放送開始に向けた特集番組として、金曜夜8時台に『もうすぐ！連続テレビ小説「わろてんか」』(G, 9.29)を43分間放送。同番組は、近畿ブロックでの放送に先立ち、29分間の番組として、9月18日に総合テレビで全国に向けても放送した。さらに、近畿ブロックでは、『いよいよスタート！連続テレビ小説「わろてんか」スペシャル』(G, 9.28)を放送し、随所で盛り上げた。また「わろてんか」関連特集番組として『いよいよクライマックス！葵わかかと「わろてんか」を楽しもう』(G, 3.17)を近畿ブロックで放送した。

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向けて積極的に発信した。『第99回全国高校野球選手権大会』(G, E, R1, 8.8～23)では、総合テレビ・Eテレ合わせて全試合を生中継した。試合間には、甲子園での名勝負をコンパクトに伝えるVTRをインサートする演出も取り入れ、高校野

球の魅力を効果的に引き立てた。また、高校野球関連のラジオ特集番組として、『開幕直前！甲子園をもっと楽しめる「ブラバン応援」スペシャル』(R1, 8.4)も放送した。ホームページは、出場校の紹介動画や取材記を掲載するとともに、イニングスコアおよびイニングの詳細情報、ボールカウントをリアルタイムで更新表示した。また、各出場校への応援メッセージを募集し、投稿された内容を放送で紹介するサービスを実施した。

また『第90回選抜高校野球大会』(G, E, R1, FM, 3.23～4.4), 『男子第19回・女子第9回 全日本学生柔道体重別団体優勝大会』(E, 10.29), 『第95回全国学生相撲選手権』(E, 11.4), 『第91回全日本男子ホッケー選手権』(E, 11.26), 『第72回甲子園ボウル 全日本大学アメリカンフットボール選手権 決勝「関西学院大学」対「日本大学」』(BS1, 12.17)などのアマチュアスポーツを伝えた。

ロードレースは、『女子第29回・男子第68回全国高校駅伝』(G, R1, 12.24), 『第36回全国都道府県対抗女子駅伝』(G, R1, 1.14), 『第23回全国都道府県対抗男子駅伝』(G, 1.21), 『第73回びわ湖毎日マラソン』(G, R1, 3.4)を放送。インターネットへのサービス展開として、16年度から開始したホームページおよびNHKスポーツアプリでマルチチャンネルライブストリーミングを実施し、複数の画面から見たい中継映像とその実況テキストをリアルタイムで選択視聴できるサービスを提供した。さらにホームページでは、競技速報に加え、出場選手のインタビュー動画やハイライト動画などレースに関連した動画クリップを公開した。このほか、競馬の『第77回桜花賞』(BS1, 4.9), 『第155回天皇賞』(G, 4.30), 『第78回菊花賞』(G, 10.22)などを中継した。

地域放送では、「阪神タイガース」の躍進を監督のロングインタビューで迫ったドキュメンタリー『阪神タイガース 金本知憲監督の信念～育てながら勝つ～』(G, 7.16)やオリンピック・パラリンピック関連の近畿ブロック特番として、『ピョンチャンで輝け！～かんさいのアスリートたち～』(G, 2.2)を放送。また、第90回選抜高校野球大会に関西から出場する7校の戦力や見どころを紹介する『センバツ90回 輝け！関西の球児たち』(G, 3.21)を放送するなど、スポーツ中継への関心を高める取り組みを行った。そのほか、Bリーグ、プロ野球、サッカーJリーグなどプロスポーツの生中継のほか、『第46回関西学生サッカー選手権 - 決勝 - 「阪南大学」対「関西学院大



学』(E, 7.9), 『第62回全国高校軟式野球選手権大会 決勝』(R1, 8.29), 『全国高校野球選手権大会』の関西2府4県大会の決勝戦(G, R1, FM), 『秋季近畿地区高校野球大会』(R1, FM, 11.3~5), 『関西大学ラグビー「同志社」対「天理大」』(E, 11.25), 『全日本大学アメリカンフットボール選手権 西日本代表校決定戦「立命館」対「関西学院」』(E, 12.3)などを中継した。

### (5) 関西ならではの豊かな魅力を全国・世界へ発信

関西の文化や奥深い歴史を伝える特集番組として、8月には『スーパープレミアム』「京都異界中継」(BSP, 8.9)を放送した。貴船神社や伏見稲荷大社など京都の名だたる伝説の地から4時間にわたり中継した。

17回目を迎えた『わが心の大阪メロディー』(G, 12.12)では、NHK大阪ホールをキーステーションに、大阪にまつわる数々の名曲を全国に向けてたっぷり届けた。今回は『連続テレビ小説』「わろてんか」でヒロインを演じた俳優・葵わかなど、藤井隆が司会を務め、「笑いと人情の街・大阪」をテーマに、名曲とともに繁華街から生中継を実施するなど多彩な演出で魅せた。また、番組ホームページでの運動企画として、各界で活躍中の「大阪で生まれた女」が自身の半生を語る2分間のショートムービーを掲載して番組を盛り上げた。

『あったまるユートピア～兵庫発地域ドラマ～』(BSP, 1.24)では、兵庫県豊岡市・城崎温泉を舞台に阪神・淡路大震災で両親を亡くした女性や城崎の高校生など夢や居場所を見失った3人の女性が不思議な出会いを通して一步を踏み出す姿を描いた。

ラジオの特集番組『開港150年記念・神戸ジャズウィーク』(FM, 6.5~9)では、日本のジャズ発祥の地、神戸を拠点に活動するジャズミュージシャンのライブステージを、5夜連続で全国に届けた。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『おはよう関西』 G

月～金 7:45～8:00

第1回93.4.3/近畿ブロック/毎週月曜から金曜まで、各地の最新ニュースや気象情報、身近な話題を掘り下げるリポート、桜や紅葉など季節の中継を交え、コンパクトに各地の情報を伝えた。スマートフォン中継など新たな演出も随時行った。

#### 『ウィークエンド関西』 G

土 7:30～8:00

第1回92.4.11/近畿ブロック/土曜の朝、お出かけに役立つ多彩な情報を伝える番組。各地の魅力を掘り下げる「西日本の旅」をはじめ、関西各地の四季折々の情報を気象予報士がリポート。その土地の“匂”を伝える中継や、気になる気象情報、世界の舞台上で活躍する人のインタビューなどを伝えた。

#### 『ぐるっと関西 おひるまえ』 G

月～木 11:30～11:57

金 11:45～11:57

第1回03.4.3/近畿ブロック/関西2府4県の各局を結んで届ける情報番組。今が旬の人物から、文化、芸能、スポーツ、おでかけ情報まで、関西にまつわるさまざまな話題を、関西各局のネットワークを活用しながら情報発信した。

#### 『ニュースほっと関西』 G

月～金 18:10～18:59

第1回15.3.30/大阪単(一部、近畿ブロック)/大阪を含む関西2府4県の「ホット」な情報や「ほっと」する話題を伝えるニュース番組。“より深く、より分かりやすく”をモットーに、地域密着の情報を発信した。冒頭20分間の関西地域向け放送では、その日のニュースにこだわり、中継や記者・キャスターの解説などを交えて、分かりやすく伝えた。後半29分間の大阪府内向けには、暮らしに役立つ情報や災害から身を守るための情報、街の話題などを伝えた。/各局タイトル:京都『ニュース630 京いちにち』、神戸『ニュースKOBE発』、和歌山『あすのWA!』、奈良『ならナビ』、大津『おうみ発630』

#### 『関西845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1/大阪単/関西の1日をコンパクトにまとめたニュース。/各局タイトル:京都『京都ニュース845』、神戸『兵庫ニュース845』、奈良『なら845』、大津『おうみ発845』、和歌山『わかやま845』

#### 『上方落語の会』 G

金 11:05～11:45

第1回11.4.20/近畿ブロック/旬の若手の落語家から、ベテラン、重鎮、時には東京からも出演者を迎え、多彩な出演者がとっておきのネタを披露。バラエティー豊かな内容で落語の魅力届けた。

#### 『かんさい熱視線』 G

金 19:30～20:00

第1回08.4.4/近畿ブロック/政治・経済・教

育・医療から文化・芸能・スポーツ・恋愛・グルメ事情まで、関西にまつわるニュースや出来事、社会の動きに素早く反応。さまざまなジャンルの「視聴者が知りたいこと」に応えるため、現場に寄り添い深く掘り下げ関西社会の“今”を伝えた。17年度は放送時間を拡大して30分間放送した。

## 『ええトコ』 G

土 10:05~10:48

第1回12.4.13/近畿ブロック/ええトコを見て関西の魅力をたっぷり紹介する旅番組。毎回異なるテーマで、関西各地に暮らす人々と旅人とのふれあいを通して、その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を丁寧に描いた。

『まちけん参上!~あなたの街のおもしろ検定~』  
新 G

日 13:05~13:48

第1回17.4.9/近畿ブロック/大阪局が若者とタッグを組み、関西の街の魅力を紹介していくクイズ番組。学生リサーチならではの問題と、笑いでいっぱいのエピソードで、日曜の午後に「その町の人たちに会いたくなる」、地元密着のクイズ番組を放送した。

## 『ルソンの壺』 G

(最終) 日 7:45~8:24

第1回14.4.27/近畿ブロック/地域向け経済情報番組。メイン企画として毎回身近なテーマを設定しながら、そのテーマを解決する「ツボ」をさまざまな関西企業の中に探していくことで、関西企業の「魅力」や「強み」、「信念・理念・哲学」を掘り下げた。

## 『関西ラジオワイド』 R1

月~金 16:05~18:00

第1回00.4.3/近畿ブロック/「楽しく聴ける情報満載の安心ラジオ」として、緊急時の報道と地域に密着した生活情報番組を目指した。また、ポエムや川柳の人気コーナーでは、幅広い年代のリスナーとの交流を深めた。

## 『かんさいミュージックBOX なみはな』 FM

月~金 18:00~18:50

第1回09.3.30/近畿ブロック/関西地域向けFM音楽番組。地域ミュージシャンの発掘と紹介に重点を置き、関西ゆかりのアーティストの音楽とその魅力に迫った。

## (2) 主な特集番組

## 『鉄オタ選手権~京阪電車の陣~』 G

4.15/17:10~17:58

## 『鉄オタ選手権~近鉄電車の陣~』 G

10.1/8:00~8:48

## 『谷4爆笑養成所』 G

6.3/23:25~0:00

## 『大阪発地域ドラマ「アオゾラカット」メイキングスペシャル~西成の空は世界にツナガル。~』

G 6.24/11:25~11:50

## 『漫才夏祭り2017』 G

7.28/19:30~20:43

## 『かんさい元気印「食の底力スペシャル」』 G

10.20/19:30~20:43

## 『ヤングナフェス@OSAKA』 G

11.27/0:10~1:25

## 『年忘れ漫才祭り2017』 G

12.15/19:30~20:43

## 『桂文枝の落語新世紀2018』 G

1.3/23:05~23:48

## 『第48回NHK上方漫才コンテスト』 G

3.2/19:30~20:43

## 『センバツ90回 輝け!関西の球児たち』 G

3.21/18:05~18:40

## 『デトックス♪ママ』 G

3.24/22:45~22:50, 3.25/22:40~22:45

## (3) 主な府県域番組

## 〔京都局〕

## 『京いちにち 年末ハイライト2017』 G

京都府域 12.27/18:10~19:00

## 『京都ミュージックプラザ・セレクション』

FM 京都府域 3.29/18:00~18:50

## 〔神戸局〕

## 『兵庫特集 新兵庫史を歩く』『歴史と文学が奏でるまちの旋律~芦屋市~』 G

兵庫県域 11.18/10:05~10:45

## 『ひょうご安全の日 1.17のつどい』 G

兵庫県域 1.17/12:20~12:35

## 『神戸ジャズの“ビッグパパ”小曾根実さん 自分だけの音を奏でろ!』 G

兵庫県域 3.4/15:05~15:55

## 〔和歌山局〕

## 『紀の国スペシャル』『NENKIN QUEST 森の宝石といのちの輪』 G

和歌山県域 8.26, 12.2

## 『NENKIN QUEST II』『いのちの森の大冒険』 G

和歌山県域 12.3/8:00~8:23

## 『キミが主役だ!NHK放送体験クラブ』『和歌山県①~⑤』 G

和歌山県域 3.12~16

## 『ラジオ防災講座①~⑫』 FM

和歌山県域 (第1) 金/18:00~18:50

※第10回のみ 1.28/11:00~11:50

〔奈良局〕  
 『俳句王国がゆく』〔奈良県田原本町〕  
     E 全中 5.14/14:30~15:29  
     G 奈良県域 6.10/15:05~16:04  
 『奈良市長選挙 開票速報』 G  
     奈良県域 7. 9~10  
 『地獄を描いた僧侶~源信 極楽往生のすすめ~』  
 G 近畿ブロック 7.23/ 7:45~ 8:24  
     全中 7.29/15:05~15:45  
     奈良県域 8.21/16:05~16:44  
 『開局80年 奈良アーカイブス』 G  
     〔NHK特集 幻の『天平』再現~東大寺大仏  
     殿落慶法要~〕  
     奈良県域 11. 4/15:05~15:59  
     〔NHK特集 斑鳩の秘宝~法隆寺『昭和資財  
     帳』調査から~〕  
     奈良県域 11.19/13:50~14:45  
     〔ある人生 『仏像との対話』〕  
     奈良県域 12.16/15:05~15:40  
     〔新日本紀行 十津川物語~奈良・北海道〕  
     奈良県域 12.16/15:40~16:10  
     〔新日本紀行 橿原市今井町~古い民家の下で~〕  
     奈良県域 12.16/16:10~16:45  
     〔白鳳再現『~薬師寺金堂再建の記録~』〕  
     奈良県域 12.24/15:50~16:35  
 『仏の寺の国宝たち~奇跡の山寺 奈良・室生  
 寺~』 G  
     奈良県域 11. 4/20:15~20:45  
 『スピリチュアルプレイス 奈良』〔吉野〕〔東大  
 寺〕〔三輪〕 G  
     奈良県域 11.12/13:05~14:34  
 『キミが主役だ! NHK放送体験クラブ奈良県①  
 ~④』 G  
     奈良県域 1. 9~11, 15/10:45~10:50  
 『ラジオも! なら防災手帳』 FM  
     奈良県域 10.24  
 『ラジオスペシャル 2 days!』 FM  
     奈良県域/18:00~18:50  
     〔春よ来い! なら音めぐり〕 3.12  
     〔ラジオも! なら防災手帳〕 3.13  
 〔大津局〕  
 『ピワイチ! びわ湖1周 自転車の旅』 G  
     滋賀県域 7. 1/10:50~11:49  
     近畿ブロック 8.13/ 2:40~ 3:39  
 『しが鉄~びわ湖1周サバイバルクイズ~』 G  
     滋賀県域 3.23/19:30~20:43  
 『おうみi』 FM  
     滋賀県域 (第3) 金/18:00~18:50

『防災ラジオ滋賀2018~おうみ防災カフェ~』  
 FM  
     滋賀県域 2.12

〔各局共通〕  
 『NHKのど自慢予選会』 G  
     〔兵庫県〕 10. 7/ 2:05~ 4:25  
 ※〔大阪府〕〔京都府〕〔奈良県〕〔滋賀県〕〔和歌  
 山県〕は放送なし。  
 『第84回NHK全国学校音楽コンクール 各府県  
 コンクール』  
     大阪府域 FM/ 8.28~30  
     京都府域 FM/ 8.28~29  
     兵庫県域 FM/ 8.28~30  
     和歌山県域 FM/ 8.29  
     奈良県域 G/ 8.26  
     滋賀県域 FM/ 8.29

### 3. スポーツ中継

全国放送では、プロ野球、社会人野球、Jリーグ、  
 天皇杯サッカー、センバツ高校野球・全国高校野  
 球選手権、全国高校駅伝、全国女子駅伝、びわ湖  
 毎日マラソン、大相撲春場所、競馬、Bリーグ、  
 学生柔道、甲子園ボウル、学生相撲選手権などを  
 テレビ・ラジオで中継した。

地域放送では、4月のプロ野球「阪神」対「広  
 島」戦を中国ブロックとのインターローカルで中  
 継した。

#### (1) 高校野球

第99回全国高校野球選手権大会

(県域放送)

大阪大会	準決勝	G・R1・FM/	7.29
	決勝	G・R1/	7.30
京都大会	準決勝	FM/	7.24
	決勝	FM/	7.25
兵庫大会	準決勝	FM/	7.27
	決勝	G/	7.28
和歌山大会	準決勝	G/	7.27
	決勝	G/	7.28
奈良大会	準決勝	G/	7.27
	決勝	G/	7.28
滋賀大会	準決勝	FM/	7.25
	決勝	G/	7.26

第62回全国高校軟式野球選手権大会

決勝 近畿ブロック R1/ 8.29

平成29年度秋季近畿地区高校野球大会  
 (近畿ブロック)

準決勝	R1/11. 4
決勝	R1/11. 5

## (地域放送)

京都大会	準決勝	FM/10. 8
	決勝	FM/10. 9
兵庫大会	準決勝	FM/10. 7
	決勝	FM/10. 8
滋賀大会	準決勝	FM/10. 9

## (2) プロ野球

(近畿ブロック)

「阪神」対「広島」	G/ 4.14
「オリックス」対「日本ハム」	G/ 5. 7
「阪神」対「日本ハム」	G/ 6. 2
「オリックス」対「西武」	G/ 9. 3
BCリーグ	
「滋賀ユナイテッド」対「巨人(3軍)」	FM滋賀/ 7. 9

## (3) Jリーグ・天皇杯サッカー

(近畿ブロック)

J1「C大阪」対「G大阪」	G/ 4.16
---------------	---------

(地域放送)

J2「京都」対「東京」	G京都/11.11
J2「京都」対「福岡」	G京都・福岡/ 3. 3
J1「神戸」対「甲府」	G兵庫/ 4.30

天皇杯全日本サッカー選手権 各府県代表決定戦  
第22回大阪府サッカー選手権大会

G大阪単/ 4. 9

第20回兵庫県サッカー選手権大会

G兵庫単/ 4. 9

第22回奈良県サッカー選手権大会

G奈良単/ 4. 9

第22回滋賀県サッカー選手権大会

G滋賀単/ 4. 9

第22回和歌山県サッカー選手権

G和歌山単/ 4. 9

## (4) その他のスポーツ

第46回関西学生サッカー選手権 決勝

「阪南大学」対「関西学院大学」

E近畿ブロック/ 7. 9

関西大学ラグビー

「同志社」対「天理大」

E近畿ブロック/11.25

全日本大学アメリカンフットボール選手権 西日本代表校決定戦

「立命館」対「関西学院」

E近畿ブロック/12. 3

プロバスケットボール Bリーグ

「京都」対「千葉」

G京都/11.19

「滋賀」対「沖縄」

G滋賀/12. 9

## (特集番組)

ピョンチャン五輪関連地域特集

『ピョンチャンで輝け!〜かんさいのアスリートたち〜』 G 近畿ブロック/ 2. 2

## II. 技術

## 1. 番組制作

ドラマにおける新たな映像表現や、スーパーハイビジョンのコンテンツ制作など、最新の技術を取り入れた質の高い番組制作に挑戦し、地域放送サービスの充実、迅速・的確な緊急報道など、視聴者本位の番組制作に取り組んだ。

## (1) ドラマ番組

『連続テレビ小説』「わろてんか」では、手ぶれを抑える3軸ジンバルを使用しヒロイン「てん」の天真爛漫さを躍動感あふれる映像で表現した。『ドラマ10』「女子的生活」では、トランスジェンダーである主人公「みき」を心情に応じて手持ちやジブクレーンを使い分け、柔軟なドキュメンタリータッチで撮影し、主人公の心の機微を丁寧に表現した一級のエンターテインメント作品として仕上げた。

## (2) 一般番組

NHK大阪ホールから『うたコン』を年間8本、12月『わが心の大阪メロディー』を生放送で届け、大阪や関西にまつわる名曲を笑いの要素もふんだんに取り入れ、華やかなステージを中継も交え全国に発信した。17年度スタートの『ごごナマ』は午後1時と2時の2部構成。午後1時台は司会3人に関西の中高年女性20人を加えたお悩み解決トークにハンディーカメラを追加して多彩な演出に応え、午後2時台は観光地などの中継も交え、週末にふさわしい楽しい話題を届けた。

## (3) スポーツ中継

『全国高校野球選手権大会』(8・3月)、『全国高校駅伝』(12月)、『全国女子駅伝』(1月)、『びわ湖毎日マラソン』(3月)において、高画質映像と5.1chサラウンド音声による迫力と臨場感あふれる放送を行った。5年ぶりに大阪で開催された『第101回日本陸上選手権』、3年ぶりの『NHK杯フィギュア』の放送では、ハイスピードカメラなど特殊機材を駆使して多角的な映像表現とリアリティー高まる音場で放送した。

## (4) 地域番組

地域の経済や課題を取り上げた『かんさい熱視線』『ルソンの壺』、地域を紹介するクイズ形式の



『まちけん参上!』『鉄オタ選手権』をロケ取材中心に制作。また、笑いの大阪らしい『谷4爆笑養成所』『漫才祭り』『落語新世紀』など上方芸能の笑いのセンスを感じながら挑戦的なライティングと安定したカメラワーク、聞き取りやすい音声で意欲的に制作した。

### (5) スーパーハイビジョン

スーパーハイビジョンの制作では、『うたコン』2本の他に『宝塚歌劇番組』1本を収録した。『宝塚歌劇』は、22.2ch立体音響による臨場感あふれる独創的なコンテンツとして本放送に向けて制作。『正倉院宝物』では超高精細・HDR広色域映像をさらに生かすため、撮影と照明手法に工夫を凝らし、宝物が持つ素晴らしい色彩とディテールを忠実に再現した作品となるよう取り組んだ。『選抜高校野球大会』ではSHV試験放送で準決勝と決勝をHDRで生中継した。

### (6) デジタルサービス

番組の接触率を上げるため、放送に加えて「インターネット」サービスを展開した。『全国高校駅伝』(女子・男子) および『全国女子駅伝』では、時々刻々と変わる順位情報などをデータ放送やPCおよびスマートフォン向けに提供し、多角的に情報を伝えた。また、PCとスマートフォン向けに複数のカメラ映像をライブストリーミングで配信するサービスを実施した(『びわ湖毎日マラソン』を含む)。『バリバラ』(E, 4.30, 7.30, 8.27)では、視聴者がPCやスマートフォンから投稿を行う視聴者参加型の双方向番組を制作した。また、『プロ野球』(G, 近畿, 6.2)では、ツイッターで寄せられたコメントをデータ放送で表示するコンテンツを使用し、応援合戦を盛り上げた。

独立型コンテンツでは、大阪局が展開している「STOP! 危ない自転車キャンペーン」の一環として、データ放送で子供をターゲットに交通ルールに関するクイズやゲームのコンテンツを放送した。

10月30日から11月26日まで、テレビ放送の同時配信の検証実験(試験的提供B)として、大阪局から総合テレビの放送をインターネットに配信した。

### (7) 選挙放送・緊急報道

9月28日の衆議院解散を受けて行われた第48回衆議院議員選挙では、10月12~19日にかけてテレビ・ラジオで政見経歴放送を、10月22日の投開票日には総合テレビとラジオ第1のほかデータ放送やインターネットも活用して開票速報を伝えた。

近畿2府4県の選挙区・比例区政見経歴放送は、

すべて大阪局から送出し、テレビ・ラジオ合わせて130回の放送枠をミスなく送出した。

22日の開票速報では、開票時間帯に台風21号が近畿地方に最接近するという異例の事態の中、午後7時55分から翌朝まで、刻々と変化する開票状況と台風の動きや被害について切れ目なく伝えた。毎正時前の5分間は台風情報とし、さらにL字画面で台風への警戒を呼びかけるなど、柔軟な対応を行った。

ニュース・緊急報道では「森友学園を巡る疑惑で籠池理事長逮捕」(7.31)、「京都・伏見区路上での殺傷事件」(12.31)などを伝えた。一方で、史上最年少でプロ棋士になった藤井聡太六段や関西出身の宮原知子・坂本花織両選手のピョンチャン五輪での活躍など、明るい話題も届けた。

また、7月の九州北部豪雨では、大阪局からも約10日間にわたって応援要員を派遣して災害報道にあたった。

## 2. 視聴者とのふれあい (CS活動)

11月3~4日の「BKワンダーランド」では、クロマキー合成体験やウルトラハイスピードカメラの実演など、最新の放送技術を体験できるよう工夫した。

10月には、大阪府内の小学5年生を対象にした「出前授業」を開催した。7校で434人が授業を受け、放送局の仕事についての理解促進を図った。

近畿各地で行われた、『NHKのど自慢』予選会では、時差再生などによるCS活動を実施し、番組と連動した視聴者サービスに努めた。

## 3. 設備

### (1) 放送網の非常災害対策と安定運用に向けた取り組み

大規模災害に備え放送網の非常災害対策および機能強化を図った。また、各種設備の高信頼化や更新により放送設備の安定運用に努めた。

- ①放送所の自家発電装置用燃料タンクの容量増強を行い、自家発電装置の稼働時間を約2倍(約200時間)に増やした。(京都・宮津TV)
- ②中継送信機の2台化整備を行い、放送設備の信頼性を向上した。(和歌山・潮岬TV, 京都・宮津R)
- ③設備の安定運用のためラジオ第1送信所(大阪・美原R)の送信設備の更新工事を進め、放送機、STL等、本線系設備の全面更新を完了した。また、域内地上デジタルテレビ基幹局送信機・STL(奈良・松尾山TV, 神戸・摩耶山



TV)を更新、このほかTV固定回線(神戸・神戸DE)、TV中継局送信機(和歌山・木ノ本DE、大津・甲賀TV)を更新した。

- ④安定電波確保のため老朽化したFM中継局送信機(神戸・生野FM、相生FM)およびFM中継局送信空中線(神戸・大屋FM、波賀FM、和歌山・本宮FM)を更新した。また、R中継局送信機(和歌山・田辺R)を更新した。
- ⑤非常時災害時の迅速な電波確保のため、電波発射可能な小型の車両を整備した。(奈良・ミニEカー)
- ⑥ラジオ第1放送の聴取が困難だった兵庫県新温泉町にラジオ中継放送所(神戸・新温泉R)を新規置局し、聴取エリアの拡大を図り地域サービス改善に努めた。

### (2) NHK共同受信施設の安定運用に向けた取り組み

17年度は、NHK共同受信施設の老朽化に伴う大規模改修工事(光化)27施設、小規模改修工事(部分補修)15施設を実施した。

このほか、15年9月の風雨による倒木で引き下ろしケーブルが損傷し、仮復旧させていた和歌山の1施設については、隣接施設から信号を受給して本復旧する大規模設備変更工事を実施した。

雷害等による停電の設備障害を軽減するオートリセットブレーカーを、新たに2施設設置したほか、劣化していた3施設で更新した。

### (3) 番組制作・送出設備の整備

番組制作設備は、大阪局テレビ第2スタジオ設備、大阪ホール照明・音響設備を更新した。

送出設備は大阪局ニュース送出設備(NC-B卓)、大阪・近畿域内局の選挙開票速報スーパー作画装置、スポーツ・双方向作画装置を更新した。

電源・空調設備は、大阪局の制御・非常灯用直流電源装置、UPS用直流電源装置、個別空調機、暖房ボイラー、神戸局の電力監視装置を更新した。

### (4) 災害・緊急報道対応設備の整備

報道設備は、大阪局にスーパーハイビジョン(4K)取材カメラ・編集設備、近畿域内局にIP伝送用中継設備を整備した。

伝送設備は、大阪府警伝送拠点設備、京都局の緊急伝送車(CSK)を更新した。

局外設備については、大阪伊丹空港、和歌山の新宮・潮岬ロボットカメラを更新した。

### (5) 放送会館の建て替え

奈良放送会館の建て替えについては、18年4月の建設工事着工に向けて、基本設計・実施設計の検討を行った。

## Ⅲ. 視聴者

### 1. 広報

[大阪局]

#### (1) 経営広報・番組広報

毎月1回、関西放送記者会加盟18社を対象に局長定例会見を開催し、大阪局や域内各局の番組・イベントなど幅広い事業内容を広報した。

『連続テレビ小説』『わろてんか』(10.2~3.31)を中心に、新番組『ごごナマ(大阪発)』(4.7~)、『ドラマ10』『女子の生活』(1.5~26)、新キャスターとなった『ニュースほっと関西』、『おはよう関西』『かんさい熱視線』『ウイークエンド関西』や『平成29年度 新人落語大賞』(11.4)、『平成29年度 NHK新人お笑い大賞』(12.17)、『第48回NHK上方漫才コンテスト』(3.2)などの取材会を計22回、個別取材を計160回実施した。

「わろてんか」では、地域活性化に貢献するため、舞台地・大阪の自治体や団体が構成する推進協議会の申し入れを受け、大阪市営地下鉄のラッピング車両運行(1.29~3.31)に参画した。また、地域イベントへの出演者派遣を、大阪刑務所関西矯正展(11.11)、宝恵駕行列(1.10)、成田山節分祭追儺豆まき式(2.3)など計6回行った。

地域向け特集番組『鉄オタ選手権~京阪電車の陣~』(4.15)、『鉄オタ選手権~近鉄電車の陣~』

(10.1)では、公式ブログにスペシャル動画や現場レポートを掲載するなど「鉄道ファン」に向けた番組広報を行った。

17年度は、「わろてんか」のSHV展開を拡充。“朝ドラ”初の放送素材を1分程度に再編集したネット動画「わろてんか・胸キュン動画」(10.16~、計29本)を、公式ブログとインスタグラムで公開。また、公式インスタグラムとLINEを合わせたフォロワー数が、16年度より増えた。

#### (2) 視聴者広報

##### ①災害への対応

大阪局は、南海トラフの巨大地震などの大規模災害に備えて、非常災害時緊急放送の受信公開について(株)大阪ターミナルビルと覚書を交わした。この受信公開は、大地震や台風などの大規模災害が起きた場合に所有するJR大阪駅周辺のビルに設けた大型画面を適宜切り替え、NHKの緊急放送を流すもので、3か所で運用された。

##### ②視聴者向けイベント

スーパーハイビジョン本放送開始を前に大阪局

の視聴者見学コース「BKプラザ」では、4Kモニターで、阪神・淡路大震災の教訓を伝えるミニ番組を流し、団体見学の小学生などが観覧した(12.26~2.26)。

「はくの絵わたしの絵」展(BKなつ祭り, 8.2~13)には3万2,000人が来場した。会場では『NHKスペシャル』「巨大水中洞窟を潜る 絶景オルダ“水の宇宙”」のVR映像を公開し、1,272人が来場した(8.4~6)。『連続テレビ小説』「わろてんか」の終盤の放送に併せ、セット公開を実施した(3.12~25)。収録で使用した舞台などのセットをアトリウムに建て込み、小道具・衣装なども展示した。同時に8Kスーパーハイビジョンで制作した関西の美しい風景を記録したミニ番組を流した。期間中およそ3万3,000人が来場した。

大阪局の視聴者見学コース「BKプラザ」は、17年度に34万人余りが訪れた。BKプラザスタジオ(公開番組スタジオ)では「あなたもキャスター☆君もカメラマン!」や「3Dハイビジョン映像体験」などの体験見学を定期的に開催したほか、イベントに併せてワークショップを開くなど、子どもや家族が楽しめる催しを行った。

大阪局が独自の取り組みとして毎年行っている大阪市内の中学生を対象にした職場体験学習は、17年度に過去最高の42校157人が参加し、レポートや撮影・音声など番組制作の基礎を学習した。

17年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は、電話・手紙・来局・メールなど合わせておよそ10万4,000件であった。

#### 〔京都局〕

開局85周年を迎えた京都局では、5月14日に「NHK京都感謝祭~ありがとう!開局85周年~」と銘打ち会館公開を実施した。スタジオ・中継車公開、クロマキー・ハイスピードカメラ体験、「ワンワンとあそぼうショー」や「京の朗読会」などの催しで、幅広い層の来場者2,000人を集めた。京都制作の全国放送番組では、『戦後72年の郵便配達』(BS1, 8.6)、『NHKスペシャル』「ドラマ 龍馬 最後の30日」(G, 11.19)の放送に向けオリジナルポスターやポストカードを作成した。4時間にわたる生中継の大型番組『スーパープレミアム「京都異界中継」』(BSP, 8.9)では、特設ホームページで視聴者の体験談募集も行った。京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会「国宝」は、48日間で62万4,493人の入場者数があった。関連イベントとしてGPS機能を利用したスマホアプリを京都市と協同で運用し「国宝スタンプラリー」を実施し若年層の参加も促した。

8Kプラザの220インチモニターでは、京都制作のSHVコンテンツ上映や、『第68回NHK紅白歌合戦』『第36回全国都道府県対抗女子駅伝』『ピョンチャンオリンピック』のパブリックビューイングを実施した。年間来局者数は10万人を超え、地域に向けた局のプレゼンスを向上させた。

#### 〔神戸局〕

神戸局では豊岡市を舞台にした兵庫発地域ドラマ「あったまるユートピア」を制作した。17年9月に豊岡市街と城崎温泉を中心に11日間のロケを実施し、地元の人たち延べ200人がエキストラとして出演した。18年1月、JR西日本の協力を得て関西各駅で相互協力ポスターを掲出したほか、新聞広告、デジタルサイネージなどさまざまなツールを駆使して放送を盛り上げた。

また、8Kスーパーハイビジョンで、海外から神戸にもたらされた品々や文化について神戸開港150年という節目の年としてその歩みをたどる「はじまりの港」、人と防災未来センターの協力を得て震災資料を撮影した「資料が語る阪神・淡路大震災」の2つのシリーズを制作し、総合テレビへも展開した。「はじまりの港」は、「海のフェスタ神戸・海の総合展」(7.15~30, ポートターミナル)や特別展「開国への潮流」(8.5~9.24, 神戸市立博物館)、「8K体感シアター in ハーバーランド」(11.3~4)、大みそかの「紅白歌合戦パブリックビューイング」(神戸文化ホール)の各イベント会場でも上映し、8K映像での美しい神戸の風景を多くの来場者に紹介した。また「資料が語る阪神・淡路大震災」(12.19~1.17)は人と防災未来センターで上映した。

このほか7月に姫路放送会館の閉館に伴い「姫路支局感謝祭」として、姫路支局のあゆみ写真展「NHK放送タイムトラベル」展を開催し、約1,200人が来場した(6.17~18, NHK姫路放送会館)。

#### 〔和歌山局〕

大規模な地震、災害において「一人の犠牲者も出さない」ことを目指す「守るプロジェクト」に引き続き重点を置き、防災・減災に関する取り組みをテレビ、音声波、イベントと多角的に展開した。『あすのWA!』内での防災コーナーのさらなる充実に加え、ラジオ防災特番、「防災サバイバル」「Let's Study BOSAI」「NHK BOSAI体操」の実施など、地域に根ざした放送局を目指して防災意識啓発に局を挙げて取り組んだ。

また、17年は和歌山県出身の偉人「南方熊楠」の生誕150周年の年であった。和歌山局は年間を

通して、番組、イベント等多彩な方法で記念の年を盛り上げた。『あすのWA!』では、従来の学問の枠を超え国境をも乗り越える知の巨人である熊楠(くまの)を彷彿とさせる人とその取り組みを紹介するコーナー「クマガスを継ぐもの」を新設し、県内の熊楠への関心を高めた。また、熊楠が生涯をかけて研究した「粘菌」の不思議に迫る番組『紀の国スペシャル』「NENKIN QUEST 森の宝石といのちの輪」を制作。さらにそのロケ地で粘菌を探すという番組の“追体験”ができるイベント「NENKIN QUEST II いのちの森の大冒険」を実施し、そのもようを和歌山県内向けに放送した。

### 〔奈良局〕

奈良局は17年に開局80年を迎え、キャンペーン企画を実施。「まほろばドキドキ伝えたい」をキャッチフレーズに、県内全39市町村を巡って「わたしのたからもの」をテーマに30秒と2分のミニ番組を制作した。平日の昼と夕方に毎日放送し、特設ホームページでも公開するなど開局80年を盛り上げた。

9月には、「開局80年！NHK奈良わくわくステーション」を開催。16～17日の2日間実施予定だったが、台風接近のため17日を中止とした。駐車スペースに特設したステージでは、ラジオ公開生放送『土曜ほっとタイム』や「忍たま乱太郎ショー」を開催した。また、館内では「大河ドラマ『おんな城主 直虎』」展、ニュースキャスター体験を始め、『天才てれびくんYOU』のフォトセッションや缶バッジ作りなどを実施し、来場者は1日で1,000人を超えた。

ホームページでは「ならナビ」の動画やブログを日々更新。7月の奈良市長選ではアクセスが大幅に伸びた。

ピョンチャンオリンピック・パラリンピックの期間中は、会館の壁面広告と懸垂幕を掲載し、15本ののぼりを立てて盛り上げた。ピョンチャンオリンピック8K試験放送期間中は、放送に併せて開館時間を延長して対応。期間中500人以上がスーパーハイビジョンを体験した。

### 〔大津局〕

17年度も引き続き3年目となる年間キャンペーン「しが！！応援宣言」を掲げて、県民の命と暮らしを守り、滋賀のために役立つとともに、県民に親しまれ信頼される放送局として、その内容をさらに深化させた。18年3月には『おうみ発630』のキャンペーンコーナー「しが鉄」と連動した特番『しが鉄～びわ湖1周サバイバルクイズ～』収録イベントを実施した。滋賀県大好きな参

加者を募集して、特別に編成した列車で、琵琶湖を1周しながら、ゲストと一緒に滋賀県ゆかりのクイズに解答していくという内容で、家族連れや鉄道愛好家など幅広い層の参加があった。参加者からは「再挑戦したい！」という声が多く聞かれるなど大変満足度の高いイベントとなったほか、SNS上での反響も大きく、大津局Twitterの表示回数増加、それに伴う大津局ホームページへのアクセス件数も大幅に増えた。このイベントのもようは県域特別番組として放送し、地元放送局としての存在感を高めた。

滋賀県彦根市にゆかりのある『大河ドラマ』「おんな城主 直虎」の放送に併せ、『おうみ発630』内に「もっと知りたい！おんな城主直虎」コーナーを新設し、毎週ドラマの見どころを時代考証担当の専門家が徹底解説した。また、10月21日～11月28日には彦根城博物館で特別展を開催した。12月10日には井伊家菩提寺の清涼寺で井伊万千代役の菅田将暉をゲストに迎えパブリックビューイングを開催、多くの地元の皆さんが来場した。そのもようを『おうみ発630』でも紹介して、ドラマの最後を盛り上げた。

## 2. イベント事業

17年度、近畿ブロックでは、261件のイベントを実施し、視聴者との結び付きの強化に努めた結果、16年度より約66万人多い234万8,300人の視聴者が参加した。

大阪局では、後期の『連続テレビ小説』「わろてんか」に連動した会館公開イベントや東京五輪1,000日前イベント「千日前でわろてんか ギャグ1000発やりなはれ！」(10.28、よしもと漫才劇場)等を展開した。

また、公共放送ならではの防災キャンペーンイベントとして「NHK防災サバイバル」等を大阪・和歌山で実施したほか、3年ぶりに大阪で「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」を開催した。そのほか、スーパーハイビジョンによるパブリックビューイングを「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」と「ピョンチャン五輪」をグランフロント大阪で実施し、計1万1,009人が参加した。

### (1) 全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『うたコン』『新・BS日本のうた』『ザ少年倶楽部』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』など、テレビ・ラジオ番組83本を、NHK大阪ホールや近畿各地で実施した。



## (2) 展覧会

「特別展 海北友松」(4.11～5.21, 京都国立博物館), 「源信 地獄・極楽への扉」(7.15～9.3, 奈良国立博物館), 「地獄絵ワンダーランド」(9.23～11.12, 龍谷ミュージアム), 「特別展 国宝」(10.3～11.26, 京都国立博物館), 「北斎-富士を超えて-」(10.6～11.19, あべのハルカス美術館), 「NHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』特別展」(10.21～11.28, 彦根城美術館), 「第64回日本伝統工芸展」(10.18～23, 京都高島屋/2.16～20, 大阪高島屋), 「ゴッホ展 巡りゆく日本の美」(1.20～3.4, 京都国立近代美術館) などを開催した。

## (3) 教育・子どもイベント

「第64回NHK全国高校放送コンテスト近畿各府県大会」「第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト近畿各府県大会」「第84回NHK全国学校音楽コンクール近畿各府県コンクール」および「同近畿ブロックコンクール」を6月から9月に実施した。北斎展・国宝展開催を記念したイベント「びじゅチューン! 井上涼のニッポン美術展」(10.9, 近鉄アート館) や「いないいないばあ! あつまれ! ワンワンわんだーらんど」(5.6～7, NHK大阪ホール), 「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(12.22～24, NHK大阪ホール) なども実施した。

## 3. 営業

3か年経営計画の最終年度となる17年度において、近畿ブロックでは、法人委託事業者の一層の拡大、職員による事業所対策、不動産事業者による手続き拡大、民事手続きの着実な実施等の営業改革に、引き続き取り組んだ。

法人委託の拡大に関しては、既存事業者の育成強化と併せて、民間調査会社のデータを活用した新規法人委託事業者の開発活動を行った。職員による事業所対策については、総合テレビの『鉄オタ選手権』を活用した鉄道会社大手への対策や、関西一部上場企業対策を実施した。また、訪問員以外の営業戦力による取り次ぎ確保に向け、賃貸不動産事業者や日本郵便、ケーブル事業者による手続きの拡大に取り組んだ。

上記の活動の結果、17年度はブロック合計で8年連続となる全営業諸目標を達成した。

中

国

## I. 放送

### 1. 放送の概要

#### (1) 災害・大規模報道への取り組み

鳥根県に大雨特別警報が発令された7月の豪雨をはじめ、台風や大雨、大雪などの気象災害にあたっては、中国ブロック・県域で特設ニュースを放送したほか、文字情報(L字画面)も積極的に活用して交通情報などの生活情報も詳しく伝えた。

衆議院議員選挙(10.22投開票)では、中国地方各局が政見・経歴放送の実施と開票速報をはじめとした正確かつきめ細かい報道に万全を期した。また、投開票日当日は台風21号が日本列島に接近していたが、開票速報の中で台風関連の情報を地域に向けて随時伝え、選挙報道と防災・減災報道の両立に努めた。衆院選のほか、広島局は広島県知事選(11.12投開票)、山口局は山口県知事選(2.4投開票)の政見・経歴放送、開票速報をそれぞれ実施した。

17年度も防災・減災に資する放送に各局とも取り組んだ。広島局では、14年8月の広島市の土砂災害から3年を迎えることを踏まえ、大雨シーズンを控えた6月にR1で「防災ラジオキャンペーン『土砂災害から命を守る』」を展開。土石流の特徴や情報の入手方法、避難方法などについて定時番組やインフォメーション枠の中で伝えるとともに、インターネット上でも聴けるようにした。

9月には、『中国!ちゅーもく!ラジオ』枠内で「防災の日特集」を放送(9.1)。広島市の土砂災害の被災地の現在を伝えるとともに、17年の大雨の特徴や土砂災害から命を守る方法などを伝えた。鳥取局では17年1月の記録的大雪を踏まえ、『とっとりスペシャル 大雪に備える』(1.19)を放送して大雪時の注意点について詳しく伝えた。山口局では『やまぐち防災ラジオ～今“あなた”が始めるBOSAI～』を6月にR1とFMで5日間にわたって放送した。

データ放送では、17年度に山口県がLアラート(災害情報共有システム)に参加したことに伴い、山口局がLアラートの情報に基づいた避難情報・避難所開設情報の提供を開始した。広島局、岡山局、鳥取局の3局は16年度に引き続き土砂災害危険度情報を提供している。



## (2) 核・平和関連の取り組み

17年7月に、法的に核兵器の開発・保有・使用などを禁止する核兵器禁止条約が国連で採択され、10月には核兵器廃絶に向けて活動している核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) がノーベル平和賞を受賞する一方、北朝鮮が核実験やミサイル実験を繰り返し国際的な緊張が高まるなど、核兵器と平和を巡り大きな出来事が相次いだ。核兵器廃絶を巡る動きや被爆者たちの活動や役割、被爆地・広島への思いについて、ニュースや番組を通じて年間を通して発信した。

これとともに、7・8月を中心にドキュメンタリー、ドラマ、アニメ、音楽など多彩な番組を編成し、被爆地・広島への思い、被爆体験の記録と次世代への継承などを発信し、さまざまな視聴者が改めて被爆や平和について考えるきっかけとした。『NHKスペシャル』「原爆死～ヒロシマ 72年目の真実～」(8.6)は、広島市が原爆投下当日から現在に至るまで記録してきた「原爆被爆者動態調査」を基に最新のビッグデータ解析技術を駆使することで、これまで知られていなかった被爆の実相を明らかにした。『ラジオ特集「ドキュメント・原爆ドーム前」』(8.6)は、原爆ドームの前で訪れた外国人と対話を重ねる胎内被爆者の男性の活動を追い、原爆ドームの前から世界に何が発信されようとしているのかを見つめた。『“原爆の絵”は語る～ヒロシマ 被爆直後の3日間～』

(7.31)は、広島局の呼びかけで始まった市民による被爆記録“原爆の絵”を新たに8Kスーパーハイビジョンで撮影。筆致までつぶさに記録した高精細映像と被爆手記の朗読で被爆直後の惨状を伝え、スーパーハイビジョンの新たな可能性を示した。『アニメーションで伝える“ヒバクシャからの手紙”』(8.4)は、07年から15年にかけて広島局に寄せられた被爆者の手記を、国内外のクリエーターや広島でアニメを学ぶ学生がアニメ化し、次世代への被爆体験の継承に取り組んだ。『ヒロシマ8.6ドラマ「ふたりのキャンパス」』(8.1)は、広島市の高校で実際に行われている高校生による原爆の絵制作の取り組みを基に、被爆者と高校生の交流を通して、世代間の相互理解と被爆体験の継承について描いた。10回目の節目を迎えた『いのちのうた2017』(8.9)は、幅広い世代の歌手たちがそれぞれの平和のメッセージを歌に込めて届けた。

制作局と共同で、自撮り動画と被爆前の広島町のアーカイブス映像の合成映像を生成できるスマートフォン用アプリ「時空転送 NHKのタイ

ムマシン・広島編」を開発、提供した。70数年前の同じ場所の動画に自分が入り込むことで、その場所の歴史を“自分ごと化”してもらい、ふだんあまりテレビを見ない世代に被爆や平和について考えるきっかけとした。

## (3) 地域放送

金曜午後7～8時台は、地域のさまざまな動向をタイムリーに捉えた番組や、地域の魅力を紹介する番組、プロ野球「広島カープ」中継のほか、中国地方各地の事例を徹底取材して地域活性化のヒントを探るシリーズ『ふるさとの逆襲』を展開した。

平日午後6時台は、各地域の基幹ニュース番組として、地域に密着した情報を提供して視聴者の関心に応えた。松江局の人口減少・JR三江線廃止や鳥取局の“鳥取県中部の地震から1年”など、各地域の課題について継続的に取り上げ、その成果を番組として発信することにも取り組んだ。いざという時のためにデータ放送を身近に感じてもらうため、広島局、岡山局、鳥取局では、双方向連動データ放送による気象クイズを定期的実施した。

平日午前11時台は、生活情報番組『ひるまえ直送便』を引き続き中国ブロックで放送。各放送局とのネットワークを生かし、各地の旬な話題や暮らしに役立つ情報を提供した。

R1の午後5時台に月～木曜は広島県域向けに『ひろしま コイらじ』を、金曜は中国ブロック向けに『中国！ちゅーもく！ラジオ』を放送。地域の魅力や地元に着目した情報を伝えた。

## (4) その他

プロ野球「広島カープ」がセントラルリーグ連覇を果たした。当初、中国ブロックでの放送を予定していた、優勝が目前に迫った9月14日の「広島」対「DeNA」を急きょ全国放送で中継したことに加え、広島県域で優勝当日夜間に優勝特別番組『カープ セ・リーグ連覇！』(9.18)を放送したほか、中国ブロック向けに優勝パレードを生中継(11.25)し、16年に引き続きインターネットでも同時提供した。また、視聴者の高い関心に応え、「カープ」の名物スカウトの新人発掘の秘けつに迫った『プロフェッショナル 仕事の流儀「野球の神様に、愛されるほどに プロ野球スカウト・苑田聡彦」』(12.25)を広島県域で12月21日の午後7時台に先行放送した。

広島局はスーパーハイビジョン番組の制作に取り組む、『庭は一幅の絵画である 足立美術館 世界一の庭の四季』(5.22)、『“原爆の絵”は語る

～ヒロシマ 被爆直後の3日間～』(7.31)を8Kで制作したほか、『ニッポン印象派「聖なる島の社」』(1.20)、岡山局が撮影した映像も活用した『シリーズ 瀬戸内宝石箱』(1.5, 12, 2.2)を4Kで制作した。また、開局90年の取り組みの一環として『今夜も生でさだまさし「～ヒロシマさしのお好みナイト!～』』(2.4)を広島局から生放送した。岡山局は『瀬戸大橋30年ラジオ特集 瀬戸内に萌(も)えきゅん!大学生バトル』(3.21)をはじめ、結び付きの強い高松局と連携し、瀬戸内地方の視聴者の関心に応える放送に取り組んだ。松江局では、人口減少やJR三江線廃止などの地域の課題に継続して取り組み、『島根スペシャル 人口減少に挑む』(6.23)、『フェイス「廃線を乗り越えていけ ～三江線沿線 ふるさとを守る男～』』(11.17)など、地域の将来を考える番組を放送した。鳥取局では、鳥取県中部の地震から1年にあたって、被災地出身のボクサーを取り上げた『とっとりスペシャル 復興の希望を拳に込めて～地震から1年 倉吉出身プロボクサーの挑戦～』(11.17)や夕方のニュース番組で被災者の証言を振り返るシリーズ「私の10.21」を放送した。山口局は、『新日本風土記「山口』』(11.17)の放送と連動してBSプレミアムで山口県関連番組を集中編成するなどして、地域の魅力の全国発信に取り組んだ。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

『NHKニュース おはよう〇〇(県名)』 G

月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5/県域/県内のニュースやきょうの動き、気象情報に加え、各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。

『NHKニュース おはようちゅうごく』 G

土 7:30～8:00

第1回93.4.10/中国ブロック・一部県域/中国5県の朝の表情を伝える中継やリポート、週末のイベント情報や生活情報、そして「西日本の旅」など、多彩な内容のニュース・情報番組。

『ひるまえ直送便』 G

月～金 11:30～12:00

第1回14.4.2/中国ブロック・一部県域/日々の暮らしに役立つ情報や、地域の魅力を再発見できる話題を伝える情報番組。地域で活躍する人物へのインタビュー、リポーターが各地を旅する「ぶっつけ本番口コミ旅」、視聴者参加の「川柳」コーナーなど、多彩な内容で放送。

『お好みワイドひろしま』 G

月～金 18:10～18:59

第1回84.4.2/広島県域/広島県内のニュースを分かりやすく伝える情報番組。7月から8月にかけて高齢化が進む被爆者の証言や、被爆者団体の活動維持、被爆者認定制度の課題など10回シリーズで伝えたのをはじめ、年間を通して被爆者の現在、核兵器廃絶を求めるヒロシマ、ナガサキ、世界の動きについて伝えた。また、シリーズ「働き方新時代」では県内外の動きを取り上げた。そのほか、「広島カープ」の注目選手へのインタビュー「カープに聞いてコイ」を放送した。また、双方向システムを利用した地域紹介コーナー「みっけ!!」や「お天気クイズ・まるてん!」を引き続き実施した。字幕放送。/各局タイトル:岡山『もぎたて!』、松江『しまねっとNEWS 610』、鳥取『いちおしNEWSとっとり』、山口『情報維新!やまぐち』

『ひろしまニュース845』 G

月～金 20:45～21:00

第1回96.4.1/広島県域/県内の1日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。/各局タイトル:岡山『岡山ニュース845』、松江『しまねっと845』、鳥取『とっとりニュース845』、山口『情報維新!やまぐち845』

『フェイス』 G

金 19:30～19:59

第1回11.4.1/中国ブロック/地域おこしや人口減少などの地域の課題・平和・人・文化・スポーツなど、多様なテーマについて取材し、掘り下げて伝えることで視聴者の疑問や関心に応える番組。

『ふるさとの逆襲』 新 G

金 19:30～20:43

第1回17.12.8/中国ブロック/年3回/高齢化、過疎化、人口減少など、さまざまな課題に直面する中国地方で、課題に向き合い、地域活性化に取り組んでいる事例を徹底取材し、“成功のカギ”を発見する地域情報番組。

『1000年先まで残したい!?広島れがしい』 新

G 土 23:25～0:00ほか

第1回17.4.22/広島県域/年3回/中国地方の中心として発展してきた広島の知られざる文化や歴史、魅力的な人物などをディレクターが自らの足で探し、プレゼンするバラエティー番組。

『@okayama』 新 G 金 19:30～19:59ほか

第1回17.8.1/岡山県域/年3回/岡山県ゆかりのゲストに焦点を当て、思い出の家庭料理からゲストの人生に迫る「レシピ 私を作ったごはん」をはじめ、地域の魅力を掘り起こし、地域の

課題について考える番組。

『島根スペシャル』 G 金 19:30~19:59ほか

第1回14.4.18/島根県域/年2回/地域社会を抱えるさまざまな課題や郷土の奥深い文化・歴史など、多様なテーマを自由な演出で放送し、島根に暮らす人々の関心に応える番組。

『とっとりスペシャル』 新 G

金 19:30~19:59

第1回17.4.21/鳥取県域/年5回/拉致問題をはじめ、16年10月に鳥取県中部で起きた地震からの復興、地元で活躍する人など、さまざまな角度から“鳥取県のいま”を見つめる番組。

『√るーと5 min.』 G 土 12:40~12:45

第1回17.4.22/鳥取県域/マンボウやしりとハイキングウォーキング・松田が“ラブ鳥取”を合言葉に、ぶっつけ本番で鳥取県を旅する番組。

『YAMAGUTIC』 G 金 19:30~19:59ほか

第1回08.4.11/山口県域/年5回/“地域を見つめる”“時代と向き合う”“未来を展望する”の3つのテーマを軸に、地域の課題に向き合い、地域の魅力を発掘する番組。

『NHK中国地方放送番組審議会』 G 随時

第1回97.11.16/中国ブロック/番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』 R1

月~金 7:40~ 7:58

土 7:40~ 8:00

第1回89.4.3/中国ブロック/気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース、旬の人や時の話題の電話インタビューで構成。

『ひろしま コイらじ』 R1

月~木 17:00~17:55 (大相撲期間を除く)

第1回16.4.4/広島県域/広島で頑張る若者の活動や、「広島カープ」やエンターテインメント情報など地元根ざした情報を伝える番組。

『中国!ちゅーもく!ラジオ』 R1

金 17:00~17:55 (大相撲期間を除く)

第1回16.4.8/中国ブロック/中国地方の各放送局が制作した各地の魅力を伝える番組を、中国地方全域に向けて生放送する番組。

(主なラインナップ)

「広島アーティスト三昧」 (広島局)

「岡山ラジオ・おからじ!」 (岡山局)

「まるっと☆しまね」 (松江局)

「やしろ荘でごによごによ」 (鳥取局)

「ラジオYAMAGUTIC」 (山口局)

「中国地方 戦争・平和インタビュー」

(各局)

「中国地方 人権インタビュー」 (各局)

(2) 特集番組 (核・平和関連番組を除く)

〔中国ブロック〕

『ひるまえ直送便 大型連休直前 おでかけレシ

ピ特集』 G 広島局/ 4.26/11:05~11:52

『“この世界の片隅に” コトリンゴの音楽世界』

G 広島局/ 6. 2/19:30~19:59

『鳥取・八頭発! うた自慢』 G

広島局/ 6.25/13:05~13:48

『レシビ 私を作ったごはん』 G

「スチャダラパー Bose」

岡山局/ 8. 1/20:14~20:44

「“わろてんか” に出演中! 前野朋哉」

岡山局/ 1.26/20:00~20:43

『庭は一幅の絵画である 足立美術館 世界一の

庭の四季』 G 広島局/ 9.22/19:30~19:59

『よみがえる雪舟の名画~今かいま見る画聖の境

地~』 G 山口局/10.20/20:00~20:43

『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコン

テスト2017 中国地区大会』 G

広島局/11.23/10:05~10:59

『祝!セ・リーグ連覇 生中継 カーブ優勝パレ

ード2017』 G 広島局/11.25/10:05~11:25

『ひるまえ直送便スペシャル 北岡三千男がたど

るトラベジ~Traditional Vegetables~』

G 広島局/12.17/13:05~13:48

『シリーズ 瀬戸内宝石箱』 G 19:30~19:59

「うみの色 しまの色」 広島局/ 1. 5

「芸予諸島 四季の色」 広島局/ 1.12

「白き竜よ舞え~愛媛 長浜・舩川あらし~」

松山局/ 2. 2

『第84回NHK全国学校音楽コンクール 中国ブ

ロックコンクール』 E

広島局/ 9.23/14:00~16:44

『FM広響コンサート』 FM

「第372回定期演奏会」

広島局/ 7.30/14:00~16:00

「第377回定期演奏会」

広島局/ 2.25/14:00~16:00

〔県域〕

『広陵 初制覇に挑む 第99回全国高校野球選

手権大会 決勝』 G

広島県域/ 8.24/ 0:35~ 4:07

『カーブ セ・リーグ連覇!』 G

広島県域/ 9.18/18:58~19:30, 22:00~23:50

『めざせ3連覇! つかめ日本一! ~カーブ開幕

直前特集~』 G

広島県域/ 3.16/19:30~20:43

『熱唱！NHKのど自慢予選会～吉備中央町～』  
 G 岡山県域 / 7. 1 / 0:55～ 3:25

『チャリダー★快汗！サイクルクリニック「岡山  
 スペシャル “グルメ旅 in 小豆島”』 G  
 岡山県域 / 12.21 / 20:14～20:43

『@okayama 岡山に「プロフェッショナル」  
 がやってくる～高梁市出身！ワイン醸造家・仲  
 田晃司～』 G  
 岡山県域 / 1. 7 / 13:05～13:35

『ありがとう 星野仙一さん ～“闘将”がのこ  
 した言葉～』 G  
 岡山県域・中部ブロック / 1.13 / 11:25～11:54

『闘将・星野仙一さんをしのんで』 G  
 岡山県域 / 3.16 / 20:00～20:40

『島根スペシャル 人口減少に挑む』 G  
 島根県域 / 6.23 / 19:30～20:43

『鳥取・八頭発！うた自慢』 G  
 鳥取県域 / 6.16 / 20:00～20:43

『荒海ゴールドラッシュ 完全版』 G  
 鳥取県域 / 2.18 / 7:45～ 8:14

『YAMAGUTICスペシャル「CATV大集合！  
 これが故里の底力」』 G  
 山口県域 / 12.15 / 19:30～20:43

『やまぐち防災ラジオ～今“あなた”が始める  
 BOSAI～』 R1・FM  
 山口県域 / 11:50～12:00ほか

「“あなた”の家の防災リフォームは？」 6. 5

「“あなた”の家族の非常持ち出し袋を作ろ  
 う！」 6. 6

「“あなた”の町のオリジナル防災マップを作  
 って危機回避！」 6. 7

「“あなた”も目指そう！防災士」 6. 8

「“あなた”のスマホは災害時に活用でき  
 る！」 6. 9

『やまぐち人権インタビュー』 R1  
 山口県域 / 12:30～12:55

「繰り返される障害者虐待をなくすために～山口  
 県知的障害者福祉協会会長・古川英希さん～」  
 11.10

「子どもの貧困から救いたい～NPO法人山口せ  
 わやきネットワーク代表・児玉頼幸さん～」  
 11.17

「“責めない！”でDV被害者支援を～母子生  
 活支援施設『沙羅の木』・施設長 岩城克枝  
 さん～」 11.24

〔各局共通〕

『第84回NHK全国学校音楽コンクール』  
 「広島県コンクール」 E

小学校の部 8.26 / 12:00～13:45

中学校・高等学校の部 8.27 / 14:00～16:20

〔岡山県コンクール〕 E  
 小学校・中学校・高等学校の部  
 8.26 / 12:00～13:58

〔島根県コンクール〕 E  
 高等学校の部 8.26 / 9:20～10:25  
 中学校の部 8.26 / 10:25～11:40  
 小学校の部 8.26 / 12:10～13:00

〔鳥取県コンクール〕 FM  
 小学校・中学校・高等学校の部  
 8.25 / 18:00～18:50

〔山口県コンクール〕 E  
 小学校・高等学校の部 8.26 / 9:20～11:22  
 中学校の部 8.27 / 14:00～15:40

### 3. 核・平和関連番組

#### (1) 地域番組

〔中国ブロック〕

『フェイス』 G 広島局 / 19:30～19:59

「核兵器禁止条約の挑戦～被爆者の願いは実現  
 するか～」 6.16

「ヒロシマ・デジタルトリップ～最新技術で伝  
 える“原爆の記憶”」 7.21

『高校生が描く“原爆の絵” ヒロシマ8.6ドラ  
 マ「ふたりのキャンパス」の舞台裏』 G  
 広島局 / 7.14 / 19:30～19:59

『原爆の絵からたどるヒロシマ』 G  
 広島局 / 7.28 / 20:00～20:44

『ヒロシマ8.6ドラマ「ふたりのキャンパス」』  
 G 広島局 / 8. 1 / 19:30～20:13

『アニメーションで伝える“ヒバクシャからの手  
 紙”』 G 広島局 / 8. 4 / 19:30～20:00

『いのちのうた2017』 G  
 広島局 / 8. 9 / 19:30～20:43

『谷口稜嘩さんをしのんで NHKスペシャル選  
 「赤い背中 原爆を背負い続けた60年」』 G  
 9. 7 / 2:33～ 3:27

〔広島県域〕

『テレビが伝えたヒロシマ』 G  
 「NEXT 未来のために・選 ヒロシマに生まれ  
 れて～被爆者と高校生たち～」  
 7.30 / 13:05～13:34

「NEXT 未来のために・選 決裂の裏側で  
 核兵器禁止条約と一人の外交官」  
 8. 5 / 10:05～10:34



「BS1スペシャル 核なき世界の行方～“核兵器の近代化”とアメリカ～」  
8. 5/10:34～11:23  
「NHKスペシャル 原爆の絵－市民が残すヒロシマの記録－」  
8.18/ 2:10～ 3:08  
『10代へ送る ヒバクシャからの手紙』 G  
7.29/23:55～ 0:00ほか  
『被爆72年 原爆の日特集』 G  
8. 6/18:10～19:00  
『にっぽん紀行・選「それからの人生を聴かせてください～広島 ネオン街の語り部会』 G  
8.26/10:55～11:23

(2) 全国放送

『“原爆の絵”は語る～ヒロシマ 被爆直後の3日間～』 G 8. 6/13:05～13:48  
SHV 7.31/13:00～13:43ほか  
『ぐるっと にっぽん ヒロシマ8.6ドラマ「ふたりのキャンパス」』 G 8. 5/15:05～15:49  
『平成29年 広島平和記念式典』  
G 8. 6/ 8:00～ 8:38  
R1 中国ブロック 8. 6/ 8:00～ 8:56  
R1 8. 6/ 8:00～ 9:00  
『NHKスペシャル「原爆死～ヒロシマ 72年目の真実～」』 G 8. 6/21:00～21:49  
『いのちのうた2017』 G  
8.18/ 0:10～ 1:23  
『ろうを生きる 難聴を生きる「音のないヒロシマ “手話でつなぐ被爆体験”』 E  
8.26/20:45～21:00  
『ラジオ特集「ドキュメント・原爆ドーム前」』  
R1 8. 6/20:05～20:55

4. スポーツ中継

〔高校野球〕\*ブロックと特記した以外は県域放送  
第99回全国高校野球選手権大会・地区大会  
広島県 準決勝 G・E・R1/ 7.23  
決勝 G・FM/ 7.25  
岡山県 準決勝 G・E・R1/ 7.27  
決勝 G・R1/ 7.28～29 (再試合)  
鳥根県 準決勝 G・E・R1/ 7.26  
決勝 G・R1/ 7.27  
鳥取県 準決勝 G・E・R1/ 7.26  
決勝 G・R1/ 7.27  
山口県 準決勝 G・E・R1/ 7.26  
決勝 G・E・R1/ 7.28  
平成29年度秋季高等学校野球大会・地区大会  
広島県 決勝 R1/10.14  
岡山県 準決勝 R1/10. 1

決勝 R1/10. 7  
鳥根県 準決勝 R1/ 9.30  
決勝 R1/10. 1  
鳥取県 準決勝 R1/ 9.30  
決勝 FM/10. 1  
山口県 準決勝 R1・FM/10. 1  
決勝 R1/10. 3  
第129回秋季中国地区高等学校野球大会  
(中国ブロック)  
準決勝 R1/11. 4  
決勝 R1/11. 5

〔プロ野球〕

(中国ブロック)

「広島」対「ヤクルト」 G/ 4. 7  
「広島」対「DeNA」 R1/ 4.20  
「広島」対「巨人」 R1/ 4.27  
「広島」対「巨人」 R1/ 5.12 (降雨中止)  
「広島」対「ロッテ」 R1/ 6. 2  
「広島」対「ソフトバンク」 R1/ 6.16  
「広島」対「阪神」 G/ 6.23  
「広島」対「中日」 R1/ 8.25  
(中国・近畿ブロック)  
「阪神」対「広島」 G/ 4.14  
(中国・中部ブロック)  
「中日」対「広島」 G/ 5.19  
(中国・北海道ブロック)  
「日本ハム」対「広島」 G/ 6. 8  
(中国・東北ブロック)  
「楽天」対「広島」 G/ 6. 9～10  
(中国・東海3県ブロック)  
「中日」対「広島」 R1/ 9. 8  
(広島県域)  
「広島」対「ヤクルト」 R1・FM/ 9.16  
クライマックスシリーズ ファイナルステージ  
「広島」対「DeNA」 R1/10.18  
「広島」対「DeNA」 R1/10.19  
〔Jリーグ〕  
(広島・宮城県域)  
「仙台」対「広島」 G/ 4.22  
(広島県域)  
「広島」対「FC東京」 G/11.26  
(広島県域・北海道ブロック)  
「広島」対「札幌」 G/ 2.24  
(岡山・香川県域)  
「讃岐」対「岡山」 G/ 4.16  
「岡山」対「讃岐」 G/ 9.23  
(岡山県域)  
「岡山」対「名古屋」 G/11. 5

(鳥取県域)		
「鳥取」対「盛岡」	G/	4.30
「鳥取」対「秋田」	G/	12. 3
(山口県域)		
「山口」対「名古屋」	G/	10. 7
[その他のスポーツ]		
2017年度 全広島サッカー選手権・決勝		
～第97回天皇杯広島県代表決定戦～	E/広島県域/	4. 9
第37回岡山県サッカー選手権大会・決勝		
～第97回天皇杯岡山県代表決定戦～	E/岡山県域/	4. 9
第22回島根県サッカー選手権大会		
～第97回天皇杯島根県代表決定戦～	G/島根県域/	4.15
平成29年度鳥取県サッカー選手権・決勝大会	E/鳥取県域/	4. 9
平成29年度山口県サッカー選手権大会		
～第97回天皇杯代表決定戦～	G/山口県域/	4. 9
第51回 織田記念国際陸上		
	G/中国ブロック/	4.29
Bリーグ「島根」対「栃木」		
	G/島根県域/	10. 7
第42回 日本ハンドボールリーグ 女子		
「広島メイプルレッズ」対「オムロン」		
	E/広島県域/	3.10

## II. 技 術

### 1. 緊急・災害報道、選挙報道

10月の衆議院選挙から11月の広島県知事選挙まで、長期間の選挙対応となった。

衆議院選挙開票速報では、プール取材を実施。民放4社とNHKが各担当事務所より中継を行い、広島市の絵下山で映像を集約して各社に分配し、共同映像として使用した。また、当日は台風21号が接近したが、事前に選挙情報と気象情報の送出内容を確認し、投開票日に開票状況と台風関連のニュースを的確に伝えることができた。

ヘリから伝送された受信モニターにランドマークを表示させる「ヘリサポートシステム」を導入し、緊急報道の迅速化を図った。

### 2. 番組制作

リーグ連覇を果たした「広島カープ」のプロ野球中継では9試合を制作。ローカル放送では6月

の交流戦3連戦と優勝の懸かる試合中継時、応援メッセージや「カープ」関連クイズなど、双方向デジタルサービスを付加して制作した。

7月放送の『ひるブラ』では、新周波数FPUの技術を取り入れ、広電の車両内から生中継を実施した。

広島男子駅伝では、コース西部の伝送路の安定性を確保するため、受信基地の見直しとWB受信機から直接光変換を行った。

『ヒロシマ8.6ドラマ「ふたりのキャンパス」』では、被爆者の記憶を記録として絵画で残したい高校生の情熱と、悲惨な体験をした被爆者との信頼関係を感情豊かに表現した。『ラジオ特集「ドキュメント・原爆ドーム前」』は、文化庁芸術祭ラジオ部門で優秀賞を受賞した。

『さわやか自然百景「初夏 広島湾」』では、瀬戸内に住む魚の生育を4Kで撮影。『ニッポン印象派「聖なる島 海の杜」』では、ドローンなどを用いて世界遺産である宮島を多角的に取材し、4Kで収録した。

8K『“原爆の絵”は語る～ヒロシマ 被爆直後の3日間～』を制作。短焦点シネレンズを多用して、100点に及ぶ原爆の絵の接写と現在の広島を織り交ぜ、原爆の疑似体験を促すような構成とした。被爆当時を喚起させるイメージ音を22.2chサラウンドの立体音響で表現した。8月にSHV試験放送で放送したほか、平和記念資料館で一般の来館者に上映を行った。

### 3. テレビ・ラジオ放送網

非常時の放送確保のために「比治山FM放送所」に整備を進めている「非常用ラジオ送信設備」について、9月に試験電波を発射（R1・R2同時）し、受信エリアの確認を実施した。

放送を安定的に届けるため、老朽化した駅家服部TV中継局の放送機更新および2台化を実施した（7月）。また、佐東TVの送信機・東城FMの空中線更新（12月）、県東部地区をサービスするための重要伝送ルートである「絵下山～宇根山～福山」のTS-TTL設備の更新（2～3月）を行った（放送機更新6局、空中線更新1局）。

NHK共聴の大規模（光化）改修について、域内33施設の工事を完了した。

### 4. 開発

新技術開発項目として、広島局技術部が「移動体カメラリモートコントロールシステム」を、松江局が「クロマキーレスバーチャルシステム」を

開発した。

## 5. 放送設備の充実・更新

TV回線の更新切替を行い、安定した配信・素材回線の運用につなげた（5月）。

NC更新では、ニュース生字幕室をはじめ周辺設備の移設工事（4～7月）を実施。9月には分電盤増設工事と建築工事を行い、12～2月に新NC-A設置工事を実施した。

4Kファイル伝送装置の設置と拠点局間伝送テストを行い（12月）、4K機材の導入に向けた準備を進めた。

HVシアターの8Kスーパーハイビジョン更新を提案し、18年9月末完成を目指して整備方針を決定した。

## 6. 視聴者活動

4K・8K衛星放送開始に向け、技術セミナーや講習会を通じて、関連する最新情報の提供と受信インフラ整備への理解促進を図った。域内の電器店・工事店約6,500店のうち、1,224店を普及パートナー（協力店）とすることができた（域内：セミナー5会場、講習会35会場）。

4Fハイビジョンシアターにおいて大相撲春場所の8KPVを実施（5月）。220インチスクリーン+22.2ch立体音響による“迫力の大相撲”で来場者に8Kの魅力のアピールした。

11月の「カーブ」優勝パレードで、VRカメラをパレードバスや沿道に設置してVRコンテンツを制作し、NHKオンラインで公開した。16年に引き続き東京・銀座にある広島のアテナショップ「TAU（たう）」で中国ブロックのオンエア映像をライブビューイングした。

## 7. その他

技術部企画グループで電子捺印システムを導入し、ワークフローの改善とペーパーレス化を推進した。

# Ⅲ. 視聴者

## 1. 広報

### (1) 番組広報

広島局では、『ヒロシマ8.6ドラマ「ふたりのキャンパス」』（G, 8.1）の広報活動として、出演者発表会見、ロケ取材会、広島・東京での完成試写会、地元での先行上映会を実施した。併せて、ポ

スター、リーフレット、番組パネルなど広報ツールを製作し、番組の周知に取り組んだ。また、地域の課題に向き合う番組『ふるさとの逆襲』（G, 12.8ほか）の第1回の収録時（11.15）にマスコミ向けの収録見学会・取材会を実施した。

松江局では、18年3月末に廃止となったJR三江線について11月に全国放送と地域放送で集中編成を行った際に、チラシを作成して広報した。また、ホームページに動画や関連記事を掲載するとともに、視聴者から写真・メッセージを募集し、沿線の風景や住民の思いを紹介した。

山口局では、11月にBSプレミアムで集中編成した『食材探検 おかわり！にっぽん』『れんこん～山口・岩国市～』（11.14）、『新日本風土記』『山口』（11.17）、『中井精也のてつたび！』『山口・島根 JR山口線』（11.30）および山口関連番組5番組のアンコール放送の広報活動として、山口市の代表的な風景を題材にしたオリジナルイラストカレンダー・リーフレットを製作し、市内の事業所や飲食店、JR山口線各駅などに配布した。併せて、新聞やフリーペーパー、電車中づりやデジタルサイネージなどを活用した広報展開を行った。

### (2) 視聴者ふれあい活動

広島局では、「NHK・民放番組上映会2017」（8.14～18）を在広民放4局と共同開催し、被爆・平和関連22番組を上映した。17年度は会場を広島平和記念資料館に変更した。来場者は1,200人を超えた。また、局1階大型スクリーンによる、「カーブ」戦中継のパブリックビューイングを、シーズン中に随時実施。とりわけ、リーグ優勝が決定した9月18日には1,600人が来場した。

松江局では、経営委員が視聴者からNHKに対する意見を直接聞く「視聴者のみなさまと語る会」を5月20日に局で開催した。8月5日には、「松江水郷祭 湖上花火大会」に併せて、会館屋上を視聴者に開放した。11月25～26日には、江津市で「NHK感謝祭@江津市」を実施。BSプレミアムの番組『おとうさんといっしょ』出演者によるミニライブ、ボールプールやドローン操作体験などの「どーもくんPARK」などを行い、親子連れを中心に2,500人が訪れた。

鳥取局では、「とつとりの、ときと、ともに。」をテーマに、若年層の接触率向上をねらい“鳥取の日常”を映し出すプロモーションビデオとホームページを制作。映画館やサッカー場、FacebookやTwitterなどさまざまな媒体を活用した広報展開を行った。

### (3) スーパーハイビジョン(4K・8K)

各局において、85インチ8Kモニターによるスーパーハイビジョン試験放送の受信公開を行い、大相撲、NHK杯フィギュア、ピョンチャンオリンピックといった機会も生かしながら、高画質と迫力ある音響を視聴者に体験してもらった。

広島局では、局内ハイビジョンシアターで220インチ大画面による「8K大相撲パブリックビューイング」(5.26~28)を実施した。局外では、岡山局は吉備中央町での『NHKのど自慢』の予選会会場、松江局はJR出雲市駅、江津市、安来市などで、8Kの魅力にふれてもらう活動を行った。

## 2. イベント事業

中国地方では111件のイベントを実施し、およそ64万人の参加者があった。

広島局では、延べ10万人が来場した「NHKシクラメンパーク2017」(5.3~5, 広島局)、原爆の日に関連したイベント「NHKピースサイトヒロシマ2017」(8.1~13, 広島局)、開局90年事業「レッドシンフォニー〜“赤”につながる音の旅〜」(3.29, 広島市)などを実施した。

中国地方各局では、NHK交響楽団演奏会中国地方公演(3.9, 倉敷市/3.10, 呉市/3.11, 山口市/3.12, 益田市)を実施したほか、各地域ならではのテーマや課題に合わせてイベントを実施した。

岡山局では、BSプレミアム『にっぽん縦断こころ旅』の岡山の旅(4.17~21)に併せ「火野正平&チャリオのプレミアムトークショー」(4.15, 岡山市)を地元CATVと共催した。松江局では、Bリーグ「鳥根スサノオマジック」の中継に併せて、松江市の商業施設でPRイベントを実施した。鳥取局では、16年に鳥取県中部で発生した地震の被災地である湯梨浜町、北栄町、倉吉市で公開番組を実施した。山口局では会館公開「“大好き!やまぐち”フェスタ」(11.3, 山口局)を実施し、1,300人が来場した。

### (1) 全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』などの全国放送公開番組を、中国地方で27本実施した。

### (2) 教育・子ども

「NHK放送体験クラブ」「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校・高等学校放送コンテンツ」を中国地方各局で、また「高専ロボコン中国地区大会」(10.15, 周南市)、「中国地方放送教育研究大会」(10.24, 岡山市)等の教育イベントのほか、「おかあさんといっしょ宅配便」(9.16,

広島市/7.8, 松江市/9.2, 岩国市)、「おかあさんといっしょスタジオ収録〜親子で遊ぼう!〜」(11.11, 倉吉市)、「いないいないばあ!あつまれ!ワンワンわんだーらんど」(12.3, 周南市)、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(2.10~11, 福山市)などのファミリー向けイベントを実施した。

### (3) スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会(天皇杯各県代表決定戦)」を中国地方各局で実施。「天皇盃第23回全国男子駅伝」(1.21, 広島市・廿日市市)および関連イベント「RUN ナビ!ひろしま男子駅伝」(1.12~21, 広島局)を実施。福祉では「ハートネットTV めざせ!いきいき長寿」(11.25, 岡山県勝央町)をはじめ、「NHK歳末・海外たすけあい」(12.1~25)、「NHKハート展」(12.1~12, 広島局)を実施。キャンペーンでは、「環境キャンペーン」(広島・松江局)に関する各イベントを実施した。

### (4) 展覧会

「生誕130年 バーナード・リーチ展」(4.15~6.4, 鳥取県立博物館)、「無言館 遺された絵画展」(9.16~11.19, 呉市立美術館)、「第64回日本伝統工芸展」(11.16~12.3, 岡山県立美術館/12.6~24, 鳥根県立美術館/2.23~3.11, 広島県立美術館)を実施した。

## 3. 営業

17年度の中国ブロックは、6年連続となる全営業目標を達成し、3か年経営計画(15~17年度)の最終年度での営業業績を確保した。

主な取り組みとして、広域型法人委託による契約開発業務への加重、公募型企画競争による法人委託の開発やエリア型法人委託の開発・育成など、年間を通じて訪問要員の体制構築に取り組んだ。訪問要員不足の課題がある中、職員の事業所対策および非訪問型の施策を加重実施したことによって業績を維持した。加えて、ケーブルテレビ事業者や不動産会社との連携を深め、より効率的な営業手法に向けた改革に取り組んだ。さらに、民事手続きの活動では、これまで通り訪問や文書を通じて誠心誠意丁寧な説明による説得活動を行うとともに、民事調停を活用した取り組みを積極的に行うなど、公平負担の徹底に努めた。

なお、全国で実施した訪問要員のマナーアップキャンペーンの一環として、中国ブロックでは、委託法人全訪問要員を集めたマナーアップ講習会を実施するなど、指導強化を図った。



## 四 国

## I. 放送

## 1. 放送の概要

## 〔松山局〕

64年ぶりに愛媛で開催された第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」、第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」の開会式や競技のようの中継やニュースで全国に伝えた。また、参加する地元の選手を積極的に取り上げ、ニュース企画や事前特番、総集編などを地域で放送した。

17年度も16年度に引き続き『Discover四国』キャンペーンを展開した。番組では、今後四国が直面するとされる急速な人口減少の実態をさまざまなデータやスタジオでの議論で明らかにした「四国が消える!？」や、古くなった建物に新たな命を吹き込む「リノベーション」の考え方を生かしたまちづくりを紹介し、その事例から人口減少に立ち向かうヒントを考える「“リノベーション”でまちが変わる」を放送した。ニュース企画では「四国の元気な企業」「観光の挑戦」「女性の活躍」「若者の力」の4回シリーズを制作した。観光や産業振興、地域で活躍している女性や真摯に地域に向き合う若者を取り上げ、『おはようえひめ』や『ひめポン!』内で放送した。また、英語版ホームページを作成し、動画も英語表示してインターネットで海外にも発信した。

日曜午後の『四国えかこと!』では、全国各地から大学生24人を愛媛県の中島に集結させ、知力だけではなく体力や運まで試される俳句サバイバル「学生俳句チャンピオン決定戦2017～瀬戸内の島で俳句サバイバル～」や、サッカー元日本代表の前園真聖さんが、四国八十八か所霊場全長1,400キロの道のりを自転車で回る台本なしのぶっつけ旅番組「前園真聖 自転車へんろ旅 徳島・高知編」など、家族で楽しめる番組を放送した。そのほか、今から37年前の原発誘致で町を二分する議論の中で、地域の未来と向き合った人々の物語を見つめた『いごっそうとはちきん～高知窪川・地域の未来と向き合った人々～』を放送した。この番組は総合テレビで全国にも発信した。

金曜午後7時30分からの番組『四国羅針盤』では、外国人富裕層の獲得を目指す観光の新戦略、大きな負担となっている“排せつ介護”、がんと

の共生、広がる“ハラールビジネス”の可能性、制度開始から10年目のふるさと納税、四国の遍路文化、シリーズ“人手不足”、さい帯血違法投与など、さまざまな課題に直面している四国の現状を明らかにし、四国で暮らす人たちにとって羅針盤となる情報を多角的に発信した。さらに3月には『四国羅針盤スペシャル』として、四国が直面している南海トラフ巨大地震の脅威に対して、一向に進まない住宅の耐震化や避難所不足など、放送時間を43分に拡充して課題が山積している現状について徹底検証した。

ヒューマンドキュメンタリー番組『ドキュメントしこく』では、息子に障害が見つかったことをきっかけに、これまでの仕事を辞めて就労支援の事業所を立ち上げた39歳の父親、目や足が不自由でも2人で力を合わせてこぐタンDEM自転車に挑戦し一歩踏み出そうとする人々、世界を目指すビーチバレーの若きアスリート、瀬戸内海の無人島に舞うホテルの撮影に挑んだアマチュア写真家の挑戦、江戸時代から続く八幡浜の小さな旗屋職人一家の夏、絶景の段々畑で半世紀にわたりじゃがいもを作ってきた夫婦の物語など、困難を乗り越え、前を向いて歩み続ける人たちの懸命な姿を放送した。

そのほか、金曜夜8時台は、中・四国トップレベルの人気を誇る愛媛県立とべ動物園の魅力を探った『四国で発見!いのちの不思議～愛媛県立とべ動物園～』や、地元の人たちが“白い竜”と呼ぶ大量の霧を伴った局地風をスーパーハイビジョン(4K)カメラで撮影した『シリーズ 瀬戸内宝石箱「白き竜よ舞え～愛媛長浜・肱川あらし～」』を放送した。

全国放送では、松山市のデパートの屋上にある、市民から親しまれている観覧車に密着した『ドキュメント72時間「空の密室 屋上観覧車」』(G, 7.7)や、俳句甲子園にかけける高校生を描いた『俳句甲子園二〇一七』(E, 9.17)、道後温泉に残る当時のままのおもてなしと、町にあふれる俳句文学の息吹にふれた『小さな旅「明治の面影 湯けむりに～愛媛県松山市～」』(G, 1.28)、12年前に愛媛県で起きた移植医療の当事者たちが赤裸々に語るナレーションのない25分番組『ノーナレ「悪魔の医師”か”赤ひげ”か』』(G, 3.28)、手で触れた感覚や音からのイメージを17音の俳句でつづる夫婦の日々を描いた『ハートネットTV「指先でつむぐ五・七・五～ある視覚障害者夫婦の日々～」』(E, 10.3)、厳しい風土を豊かさに変えてきた人々の物語を描いた『新日本風土記「宇

和島』(BSP, 2.2), さらに霊峰石鎚山を4Kカメラで撮影した『ニッポン印象派「水の峰 雲の山」』(BSP, 3.17)は、見たことのない絶景と息をのむような光と色のシンフォニーを映し出した。

地域が見え、人が見える番組を目指した平日夕方の地域ニュース情報番組『ひめポン!』は、視聴者の視点に立ったニュースを、分かりやすく伝えた。日替わりの企画コーナーとして、女性が気になる健康と美容、アンチエイジングなどを取り上げた「ひめライフ」や、注目の選手を取り上げた「えひめ国体」、リポーターが県内各地を隅々まで回り、地域の自慢を中継で伝えた「丹がおじゃ町ま〜す」、データ放送でクイズに参加する「クイズひめ天」など、盛りだくさんの内容で放送した。また、南海トラフ巨大地震や直下型地震などの大規模災害に対して、日頃からの備えや対処について継続的に伝えるとともに、実践的な四国4局合同緊急報道訓練を実施し、態勢を強化した。そのほか、8月の台風5号、9月の台風18号、10月の台風21号、22号と四国に相次いで上陸した台風に対し、テレビとラジオで最新ニュースを伝えるとともに、L字放送やデータ放送、インターネットでも情報を発信して、減災・防災報道に努めた。第48回衆議院議員選挙は、任期満了前の9月28日に衆議院が解散され、急きょ10月10日公示・10月22日投票での実施となった。投票まで時間がない中、万全の体制で臨み、有権者の判断のよりどころとなる公平・公正な情報を正確・迅速に伝えた。

平日の昼前の情報番組は、時間を拡大して『四国おひるのクローバー』として、四国全域向けの放送に新装した。前半「ぐるっと四国」は曜日ごとに各局のスタジオからキャスターが登場し、四国の旬の話題を伝え、後半は曜日ごとに暮らしを豊かにする「料理」「俳句」「絵手紙」「健康」などの企画を届けた。

俳都・松山ならではの俳句番組として、松山局制作のEテレ全国放送番組『俳句王国がゆく』は、公開派遣型の番組になって6年目を迎えた。17年度も全国10か所の会場で公開収録を行った。主宰は夏井いつき(俳句集団「いつき組」組長)と坊城俊樹(日本伝統俳句協会常務理事)、U字工事の司会に、アシスタントの谷尾桜子(ひめキュンフルーツ缶)。“ご当地チーム”と“俳句王国チーム”に分かれて俳句の技を競う「俳句バトル」や、番組後半は個人戦の新コーナー「勝ち抜き俳句バトル」のほか、地元小学生の俳句を紹介

する「小さな子規さん見つけた」のコーナーや、会場に来た人が俳句を発表する「わが町俳句自慢」の内容で放送した。その他の俳句番組として、R1では季語にとらわれない身近なテーマで、自由に575作品をツイッターやパソコンで投稿してもらう番組『つぶや句575』を年4回全国放送した。そのうち1回は、アニメをテーマに初の公開生放送で実施した。また、四国4県の俳句好きの子ども達が県対抗で出来を競い合う『それいけ! 俳句キッズ』を四国ブロックで放送した。

スポーツでは、関心が特に高い全国高校野球選手権の県大会や、秋季四国地区高校野球の県大会と四国大会、全日本サッカー選手権の代表決定戦を中継した。その他、野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「愛媛マンダリンパイレーツ」の試合や、「愛媛FC」のJリーグ中継、「FC今治」のJFL中継も放送するなどした。

#### 〔高知局〕

17年度は、県民に安心を与え、信頼される放送局を目指し、命と暮らしを守る報道の強化を進めた。平日夕方のニュース番組『こうちいちばん』、月1回から週1回に拡大したR1の『とさらじお』、『四国羅針盤スペシャル』「南海トラフ巨大地震 “その時” 命を守るために」(G, 3.2), 『南海地震に備えちよき』(R1, 3.3)などの番組で最新の情報を伝え、県民に災害に備えることの重要性を改めて喚起した。また、11月と3月に「四国4局合同緊急報道訓練」を実施し、四国全体で緊急時の災害報道体制を強化した。

年間5回にわたる台風対応では、接近前からL字放送を開始。さらに特設ニュース・データ放送・災害情報ページなどで最新の情報をきめ細かく伝えた。

10月の衆議院議員選挙では、当確情報をいち早く県民に伝えた。

大政奉還150年を記念して県内全域で開催された「志国高知 幕末維新博」に併せ、『おはよう四国』『こうちいちばん』『四国おひるのクローバー』のほか、『新時代を切りひらけ〜逆境を力に ジョンマン・スピリット〜』(6.30), 『ゆく年くる年』などの番組で、高知の偉人の業績や歴史の魅力を伝えた。

地域番組では4月に急逝されたペギー葉山さんの追悼番組『ありがとう ペギー葉山さん-南国土佐をあとにして-』(5.12), 『ドキュメントしこく』「AIで地域を救え〜ふるさとの課題に挑む技術者たち〜」(5.12), 「“母”と暮らす日 夢見て〜ミルキー 4年間の記録〜」(7.28)を放送

した。『みてみいや土佐』では、今後の映像資産化に備え4K撮影での制作を進めた。

全国番組では、『目撃! にっぽん』『“ヤマタイ”の甲子園 想(おも)いはいつ 中村高校野球部』(G, 4.16), 『にっぽん紀行』『いごっそう鍛冶屋とひよっこ弟子~高知 四万十町~』(G, 11.3) で高知で生きる人々の姿を描き、『サイエンスZERO』『ノーベル賞2017 重力波が切り開く新天文学』(E, 12.10), 『インタビューここから』『演歌歌手 三山ひろし』(G, 12.23) では、高知出身の人々の活躍を取り上げた。64回目となる「よさこい祭り」は生放送と録画を含め計約5時間の放送を行った。

公開番組では、『NHKのど自慢』(5.28, 高知市), 『おかあさんといっしょ』『高知ファミリーコンサート』(1.6, 高知市) などを実施した。

スポーツでは、四国アイランドリーグplusや天皇杯サッカー高知県大会決勝、秋季高校野球四国大会などを中継。「高知ファイティングドッグス」に入団した元メジャーリーガー、マニー・ラミレス選手の情報などを伝えた。

また、県内民放3社と協力した共同キャンペーン「みてみて高知12468(ワンツヨーロッパ)」では、半期ごとの同スポットを横断的に流したほか、4局のキャスターが県内のイベントに参加してテレビ視聴を呼びかけた。

#### 〔徳島局〕

梅雨時の大雨や台風の際は、特設ニュースに加えL字でも避難情報や影響などを放送し、データ放送・インターネットでもマルチ発信して、多くの県民に伝えた。また、南海トラフ巨大地震に備え、地域の人たちや行政のさまざまな取り組みをニュースで紹介し、減災・防災意識の向上に努めた。特に3月には、事前復興の考え方に基づいて備えを進めようという取り組みやその課題などを追った番組を『阿波スペシャル』として放送した。

8月に起きた徳島自動車道での16人死傷の追突事故では、速やかな中継体制構築でいち早く一報映像を全中で伝え、その後もローカルや全中の各時間帯のトップニュースとして放送した。

10月に実施された衆議院議員選挙は、短い準備期間で全局的な体制を構築し、綿密な情勢取材などを基に、充実した情報を開票速報番組などで正確・迅速に伝えた。

『とく6徳島』はニュースを分かりやすく伝えるとともに、より多くの人に親しまれるよう、地元の人々の魅力を存分に伝えるインタビュー企画や

地域の課題解決のヒントを探る企画などを出し続けた。企画の動画は放送後速やかにホームページでも紹介し、ツイッターで毎日、番組内容をつぶやき、幅広い世代への接触を試みている。

鳴門市のドイツ人捕虜収容所で、アジアで初めてベートーベンの交響曲第9番が演奏されてから100年という記念の年を前に、地元とドイツとの歴史的つながりや交流などを取材した『阿波スペシャル』『鳴門の第九 ~日独100年 響きあう思い~』を6月に放送。吉野川で開かれたラフティング世界選手権を縦糸に、大会で地域を活性化していこうという地元の人たちの思いを描いた『ここは“世界の吉野川”~日本初のラフティング世界選手権~』を11月に放送した。いずれも全国放送、国際放送にも展開した。

6月の『小さな旅』は渦潮で知られる鳴門、7月の『新日本風土記』は四国山地の厳しくも豊かな自然と、そこに暮らす人々を紹介。5月の『あさいち』で玉らっきょう、9月の阿波おどり、12月の『ひるブラ』で鳴門レンコンと、地域の文化と特産品を全国に発信した。

このほか、サッカーJ1への昇格を目指す「徳島ヴォルティス」の11月のホーム最終戦を中継し、地域と一体となってチームを応援した。

4K・8Kの本放送に向け、県内の風景や伝統文化を4Kカメラで撮影してコンテンツ蓄積を進める中、1年を通して特産の阿波藍の魅力を追い、3月に『阿波藍の四季』として、四国ブロックで放送した。

#### 〔高松局〕

災害報道の機能強化として、高松空港の死角をなくすために第2のロボットカメラを設置したほか、L字放送画面に雨雲レーダーを常時表示できるように充実させた。また、いざという時に迅速に状況を伝え避難を呼びかけるための各種訓練も毎月実施したほか、『ゆう6かがわ』の「災害に備える」では文化財を災害から守るための課題や、病院での防災教育を取り上げたほか、「特集」として、無理に避難しない方針のマンション、学校の防災マニュアル改定、外国人観光客への防災マップ作りなどをレポートした。ラジオ『まんで香川きつきょん!?』でも防災に関するインタビュー企画を年11回放送。津波、大雨への備え、熱中症対策など生活者に役立つ防災情報を届けた。

台風報道では(8~10月に3回)、台風接近前からL字放送を立ち上げ、12~17時間にわたり避難情報や交通影響などの情報を届け、データ情報やインターネットなどへのマルチ発信にも取り組



んだほか、テレビの特設、ラジオの上乗せなどでも随時地域情報を届けた。

より地域密着をアピールするために『ゆう6かがわ』のセット、タイトル動画、音楽などをリニューアルし、地域の魅力を再発見する年間キャンペーン「香川がイチバン!」を展開。各界の第一線で活躍する香川ゆかりの人物へのインタビューなどを届けるコーナー「香川がイチバン!」を『ゆう6かがわ』の中に設置。口笛で世界一になった男性や、世界で活躍するピアニスト、大相撲力士など42回にわたり届けたほか、一部は『香川スペシャル』として特集した。

地域の魅力や話題について、数多くの番組を全国や地域に向け放送した。水族館の水槽でシェア世界一の会社の経営哲学に迫った『探検バクモン』（4月）や、讃岐うどんのディープな世界を紹介する『コレマジ!? さぬきうどん伝説 2玉目』（7月）を放送したほか、『ひるブラ』（11.14～15）では、小豆島特産のオリーブオイルや丸亀名物、骨付鳥を紹介。丸亀市の扇状地という地形や歴史が刻まれた暮らしを見つめ『新日本風土記』として放送したほか、若い女性教師2人の奮闘ぶりを『にっぽん紀行』『二十四の瞳 大石先生に憧れて～小豆島・岬の分教場～』で描いた。また、西日本最大級の野外音楽イベント「MONSTER baSH」（8月）は、特設サイトを立ち上げて若年層へ広くPRした。また、瀬戸大橋が開通して30年になるのを前にラジオで『瀬戸大橋30年ラジオ特集 瀬戸内に萌（も）えきゅん! 大学生バトル』を全国放送。橋で結ばれた香川と岡山の大学生が瀬戸大橋に関するクイズや観光、味自慢で対決。坂出市の瀬戸大橋記念公園におよそ400人を集めての公開生放送を通して瀬戸内の魅力を全国に届けた。スーパーハイビジョン（4K・8K）での撮影にも力を入れ、小豆島のオリーブやしょうゆ造り、伊吹島のイロコ漁などの季節の映像、三豊市の絶景スポットを時にはタイムラプスの手法も生かしつつ撮影し、『ゆう6かがわ』で12本放送したほか、『NHKのど自慢』の会場や、高松局ロビーにて公開し、SHVの普及推進に取り組んだ。また、瀬戸内の島の暮らしを4Kで撮影し『小さな旅』『瀬戸の桃源郷 青々と～香川県 豊島～』（6月）や、『シリーズ 瀬戸内宝石箱』（1月）などの番組にまとめた。

地域の課題については、大量の産業廃棄物が不法投棄された豊島の人々の42年間にわたる闘いの歴史を改めて見つめ『ドキュメントしこく』『“ゴミの島” 再生の日』（4月）として放送し、国際

放送としてもリポートした。未解決となっている20年前の女子高校生殺害事件について、未公開の写真を入手し報道。遺族の思いや捜査の現状などを『ゆう6かがわ』で特集し、改めて情報提供を呼びかけた（11月）。また、台湾からの観光客が急増していることに着目し、香川が台湾でどれほど人気なのか、どのようにして香川の魅力が浸透していったのかを現地からのリポートとして2回放送した（7・3月）。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

#### 『おはようえひめ』 G

各県域（一部四国ブロック）

月～金 7:45～8:00

第1回93.4.5/最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか、天気カメラリレーで四国4県の朝の表情を伝えた。企画や中継などで構成し、随時、四国4県や西日本各局と共同で、季節の中継や企画シリーズを放送した。/各局タイトル：高知『おはようこうち』、徳島『おはよう徳島』、高松『おはようかがわ』

#### 『おはよう四国』 G

四国ブロック 土 7:30～8:00

第1回93.4.10/番組コンセプトは、週末の朝にふさわしく、爽やかに、そして役立つ情報を伝えること。四国の魅力を再発見する企画「四国プラス」では、各局のリポーターが、旬の食べ物や話題、伝統の技などを取材し、スタジオで紹介した。週末のイベント情報を案内する「ウィークエンド・ナビ」や、西日本各地を巡る「西日本の旅」を継続して放送した。

#### 『四国おひるのクローバー』 新 G

四国ブロック 月～金 11:30～12:00

第1回17.4.3/四国全域に向け、暮らしに役立つ情報を伝える番組。四国各県から料理人やハンドクラフト、インストラクターなどの専門家が出演した。前半は、四国の各放送局のスタジオからキャスターが各県の話題を伝えた。後半は、月曜は「楽しく!うちごはん」。火曜は映像を基に俳句を募集する「ムービー俳句!」や、「うまいもの」など1つのテーマから絵手紙を募集して紹介した。水曜はインテリア雑貨など暮らしに取り入れたいノウハウを学ぶ「教えて!ひるクロ先生」。木曜は、健康の参考になる「お手軽!エクササイズ」。金曜前半は、四国の旬の食材と郷土料理、人気マルシェ、地域を元気にする人をロケ取材で紹介した。金曜後半は、県域ごとの放送。身近な



イベント情報やお知らせ、NHKの番組紹介などを放送した。毎日の四国気象コーナーは、気象予報士が天気ワンポイントを交えながら伝えた。

### 『ひめポン!』 G

各県域 月～金 18:10～18:59

第1回16.4.4/愛媛県域/「地域が見える、人が見える」をキャッチフレーズとする平日夕方のニュース情報番組。四国に相次いで接近した台風では、各地に中継態勢を組んで現状を詳しく伝えたほか、南海トラフ巨大地震に備えた命を守るための最新の取り組みを伝えた。秋のえひめ国体や全国障害者スポーツ大会では、四国ゆかりの選手の活躍をきめ細かく取材し、コーナーを設けて詳しく伝えた。10月の衆議院選挙では、公示前も含め、選挙戦リポートの内容充実を図ったほか、記者解説を交えて争点を分かりやすく伝えた。また、超高齢社会や人口減少時代の課題を管内4局が連携して取材し、空き家対策や孤独死を防ぐ地域の取り組みなどをシリーズで伝えた。/各局タイトル：高知『こうちいちばん』、徳島『とく6徳島』、高松『ゆう6かがわ』

### 『四国羅針盤』 G

四国ブロック 金 19:30～19:58

㊥土 10:55～11:23

第1回00.3.31/少子高齢化や人口減少など、四国が抱える課題や地域活性化への新たな取り組みなどを伝える報道情報番組。17年度は「シリーズ“人手不足”」や「“がんとの共生”を支える～子育て・働きざかり世代～」「この先どうなる!? ふるさと納税」「汚された“再生医療”～追跡さい帯血違法投与～」など、関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送。防災関連では時間を拡大して「南海トラフ巨大地震 “その時”命を守るために」を放送した。

### 『ドキュメントしこく』 G

四国ブロック（年10本） 金 19:30～19:58

㊥土 10:55～11:23

第1回13.4.14/四国の“今を生きる”人々を伝えるドキュメンタリー番組。17年度はハンディキャップを乗り越えて前向きに生きる人々を描いた「指先で感じるしあわせ」や「タンDEM自転車に挑む夏」、ホテルの撮影に挑むカメラマンの挑戦を追った「命の輝きを撮る」、ふるさとを守る島民の苦闘を描いた「“ゴミの島”再生の日」など、四国の人たちの姿を記録し、放送した。

### 『四国えかこと!』 G

四国ブロック（年6本） 日 13:05～13:48

㊥土 10:05～10:48

第1回16.4.24/四国が誇る自然、文化、歴史などさまざまな魅力を伝えた。大政奉還から150年の今も輝きを放つ龍馬の魅力に迫った「拜啓 龍馬殿 ～150年の時を越えた 言葉の力～」、日本とドイツの交流の歴史をひもといた「鳴門の第九～日独100年 響きあう思い～」、サッカー元日本代表の前園真聖さんが四国八十八か所霊場を自転車車で巡るぶつつけ本番の旅「前園真聖 自転車へんろ旅 徳島・高知編」ほかを放送した。

### 『四国おはようネットワーク』 R1

四国ブロック 月～金 7:40～7:58

土 7:40～8:00

第1回93.4.5/最新の気象情報、ニュースのほか、四国各地の朝の様子や話題を、各県の「おはようリポーター」が電話で伝えた。このうち、月曜は「防災ネットワーク」で、四国の災害の研究者や防災関係者に、南海トラフ巨大地震への備えや災害時の対応などを聞いた。このコーナーは松山局の防災ポータルサイト「防マガ」と連動、原稿や放送は「防マガ」にも掲載した。土曜は、四国各地の俳句関係者と伝える「俳句ネットワーク」。1つの季語にまつわる作品の紹介やその奥深さなどを伝えた。祝日は四国ゆかりの文芸作品を、各局のアナウンサーなどが朗読する「特集・四国を読む」を放送した。

### 『ラジオまどんな』 R1

県域 月～木 17:00～17:55

第1回16.4.4/夕方のひととき、愛媛の人と一緒に楽しむ内容。17年度から月～木と放送日を拡大した。前半は、地域で活躍している人のトークコーナーをはじめ、俳句や音楽、映画などを毎月特集で取り上げた。後半は「食のカレンダー」「若者調査隊」「イベント情報」など多彩な話題をコンパクトに伝えた。リクエスト音楽やメール、お便りも毎回紹介した。

### 『とさらじお』 R1

県域 月 17:00～17:55

第1回16.10.31/17年度は月1回から毎週放送に拡大。ゲストコーナー「土佐がいちばんじゃき」では、樹木医、井桁職人、NPO代表、ガールズバンドなど、高知県で活躍する多彩な分野のゲストとの生トークを届けた。さらに季節の話題、旬の食材や料理、防災の知恵など、「高知のことをもっと知る」ためのさまざまな情報を伝えた。最新の気象情報、リスナーからの音楽のリクエスト、お便り、メールも毎回紹介した。

## 『あわ☆メロR』 R1

県域 (最終) 月 17:00~17:55

第1回17.1.30/鳴門市在住のシンガーソングライター・板東道生さんをメインパーソナリティーに迎え、徳島のフレッシュでエネルギッシュな若者の情報を紹介。番組では毎回トークテーマを設定。ゲストとして県内で活躍する高校生やご当地アイドルを迎えた。番組ホームページにはメッセージ投稿フォームを設置。リスナーから寄せられたメッセージは放送中に随時紹介した。

## 『まんて香川きつきょん! ?』 新 R1

県域 (最終) 月 17:00~17:58

第1回17.4.24/夕方のひととき、香川県の人々と一緒に楽しむ内容。アマチュア落語家をDJに起用し、生活に身近で親しみやすい放送を心がけた。また、防災に関するインタビュー企画を年11回放送。津波、大雨への備え、熱中症対策など生活者に役立つ防災情報を届けた。高松市の屋島競技場オープン(5月)や、「全国年明けうどん大会」(12月)に併せて公開放送も実施した。

## 『四国だ! ゴーゴー』 R1

四国ブロック 金 16:55~17:58

第1回14.4.4/ファッション・音楽・地域情報・お悩み相談など「聞いて得する・共感する」をコンセプトに多彩な話題を伝えた。お便りやメールの紹介のほか、四国の95ある市町村のすべてを紹介していく「四国だ! スクエア95」、リスナーをほっこりさせる話題を伝える「四国しあわせニュース」などを放送した。

## (2) 特集・特別番組

## 『四国ブロック』

## 『Discover四国』 G

「四国が消える! ?」

松山局 4.28/19:30~20:43

「“リノベーション”でまちが変わる」

松山局 1.26/19:30~20:13

## 『四国で発見! いのちの不思議~愛媛県立とべ動物園~』 G

松山局 5.26/20:00~20:43

## 『新時代を切りひらけ~逆境を力に ジョンマン・スピリット~』 G

高知局 6.30/19:30~20:13

## 『コレマジ! ? さぬきうどん伝説 2玉目』 G

高松局 7.28/20:00~20:43

## 『土佐の夏2017 よさこい祭り』 G

高知局 8.25/19:30~20:43

## 『徳島 阿波おどり2017』 G

徳島局 9.1/19:30~20:43

## 『ここは“世界の吉野川”~日本初のラフティング世界選手権~』 G

徳島局 11.3/20:00~20:43

## 『いごっそうとはちきん~高知窪川・地域の未来と向き合った人々~』 G

松山局 12.10/13:05~13:48

## 『四国羅針盤スペシャル「南海トラフ巨大地震 “その時” 命を守るために」』 G

松山・高知局 3.2/19:30~20:13

## 『シリーズ 瀬戸内宝石箱「白き竜よ舞え~愛媛長浜・肱川あらし~』 G

松山局 3.2/20:15~20:44

## 『湯の迷宮 道後温泉本館の謎』 G

松山局 7.9/13:33~13:48

## 『アイデア対決・高専ロボコン2017- 四国地区大会 -』 G

松山局 11.23/10:05~10:59

## 『それいけ! 俳句キッズ』 G

松山局 3.21/8:45~9:44

## 『Nコン2017 第84回NHK全国学校音楽コンクール 四国ブロックコンクール- 小・中・高等学校の部 -』 E

松山局 9.23/14:00~17:00

## 『Nコン2017 第84回NHK全国学校音楽コンクール・各県コンクール』

「愛媛県」E 8.26~27 「高知県」FM 8.25

「徳島県」FM 8.28 「香川県」FM 8.29

## 〔愛媛県域〕

## 『愛媛防災シンポジウム「巨大地震で“死亡者ゼロ”を目指す』 G

7.30/13:05~13:48

## 『愛顔つなぐえひめ国体 総合開会式ダイジェスト』 G

10.1/8:00~8:55

## 『愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会 総集編』 G

11.5/13:15~14:00

## 『第72回国民体育大会~愛顔(えがお)つなぐえひめ国体~県民参加創作プログラム』 E

9.30/13:00~13:36

## 『ら♪ら♪ら♪ ラジオです ラジオ3局合同 特別番組「みんなで高める防災力」』 R1

3.9/14:00~14:55

## 〔高知県域〕

## 『団塊スタイル』 G

「いつもそばに歌がある~ベギー葉山(81)~」

4.16/13:05~13:50

『みてみいや土佐』 G 12:40~12:45  
 「仁淀川町 桜地区の桜」 4.30/10:55~11:00  
 「よさこいを彩る 鳴子の音色」 7.15  
 「赤岡の絵金」 8.26  
 「土佐打刃物」 11.25  
 『ありがとう ペギー葉山さんー 南国土佐より  
 感謝を込めてー』 G  
 5.12/19:30~19:58  
 『土佐の夏2017 よさこい祭り』 G  
 8.10/19:30~20:50, 8.11/19:30~20:45  
 『南海地震に備えちよき 東日本大震災から7  
 年 その経験を学ぶ』 R1  
 3. 3/13:05~13:55, 14:05~14:55  
 [徳島県域]  
 『阿波スペシャル』 G  
 「鳴門の第九 ~日独100年 響きあう思い~」  
 6. 2/19:30~19:58  
 「町を残していくために~ “事前復興” 巨大地  
 震に備える~」 3.16/19:30~19:57  
 『熱演! 真昼の阿波おどり2017』 E  
 8.28/ 1:35~ 4:39, 8.29/ 1:40~ 4:37,  
 8.30/ 1:40~ 4:45  
 『あわ☆メロR 不思議?愉快?妖怪ミュージッ  
 ク特集!』 R1  
 11.27/17:45~18:50  
 『あわ☆メロR X'masスペシャル! クリぼっ  
 ちでも寂しくない! 失恋ソング大特集』 R1  
 12.25/17:00~18:47  
 『あわ☆メロR スペシャル! ~あなたに伝えた  
 い。ありがとうの歌~』 R1  
 3.26/17:25~18:50  
 『県内ラジオ4 放送局共同制作番組 いのちの  
 ラジオ ~徳島の防災を考える~』 R1  
 2.17/17:00~18:00  
 『第27回リオデ徳島音楽祭』 FM  
 11.22/ 7:25~ 9:15  
 [香川県域]  
 『香川がイチバン! 『琴勇輝スペシャル』』  
 5. 7/13:05~13:30  
 『香川スペシャル「城と どじょうと 讃岐富士  
 ~丸亀ものがたり~』 G  
 2. 3/15:06~16:05  
 『コレマジ!? さぬきうどん伝説 2玉目もお  
 かわり!』 G 8. 5/10:05~10:55  
 『香川がイチバン! 総集編 その1 琴勇輝』  
 G 1. 4/18:15~18:43  
 『香川がイチバン! 総集編 その2』 G  
 1. 5/18:10~18:45

『まるで香川きっきょん!? 公開生放送』  
 R1  
 「屋島GENPEIリレーマラソン」  
 5.14/10:20~10:55, 11:05~11:50  
 「全国年明けうどん大会 in 高松市」  
 12. 2/10:05~10:55, 11:05~11:50

### 3. スポーツ中継

[高校野球]  
 全国高校野球選手権大会・各県大会  
 [各県域]  
 愛媛県 準決勝 G・E・R1・FM/ 7.27  
 決勝 G・E・R1/ 7.28  
 高知県 準決勝 E・FM/ 7.25  
 決勝 G・R1/ 7.26  
 徳島県 準決勝 G・E・R1/ 7.26  
 決勝 G・R1/ 7.27  
 香川県 準決勝 G・E・R1・FM/ 7.22  
 決勝 G・E・R1/ 7.23

秋季四国地区高校野球・各県大会

[各県域]  
 愛媛県 準決勝, 代表校決定戦, 決勝  
 R1・FM/10.14, 23  
 高知県 準決勝 R1/10.14  
 決勝 R1・FM/10.17  
 徳島県 決勝 FM/10. 8  
 香川県 準決勝 FM/10. 8  
 決勝 R1・FM/10.14

秋季高校野球四国大会 (四国ブロック)

準決勝 G・E・R1・FM/11. 4  
 決勝 E・R1・FM/11. 5

[全日本サッカー選手権]

[各県域]  
 [地区大会]  
 愛媛県 代表決定戦 G/ 4. 2  
 高知県 代表決定戦 G/ 4. 2  
 徳島県 代表決定戦 G/ 4. 2  
 香川県 2018年代表決定戦 E/ 3. 3

[サッカーJリーグ中継] G

[愛媛県域]  
 「愛媛FC」戦  
 対「V・ファーレン長崎」 4.22  
 対「モンテディオ山形」 10.29  
 対「ツエーゲン金沢」 2.25

[徳島県域]  
 「徳島ヴォルティス」戦  
 対「大分トリニータ」 11.11  
 対「ファジアーノ岡山」 2.25

〔香川県域〕		
「カマタマーレ讃岐」戦		
対「ファジアーノ岡山」	9.23	
〔サッカーJFL中継〕 E		
〔愛媛県域〕		
「FC今治」戦		
対「ヴェルスパ大分」	3.11	
〔四国アイランドリーグplus中継〕		
〔愛媛・高知ブロック〕 R1		
「愛媛マンダリンパイレーツ」戦		
対「高知ファイティングドッグス」	5.20	
〔高知県域〕 G		
「高知ファイティングドッグス」戦		
対「愛媛マンダリンパイレーツ」	4.22	
〔徳島県域〕 R1		
「徳島インディゴソックス」戦		
対「高知ファイティングドッグス」	5.10	
〔香川県域〕 R1		
「香川オリーブガイナーズ」戦		
対「高知ファイティングドッグス」	5.19	

## II. 技 術

### 1. 放送機能の強化

南海トラフ巨大地震などの大規模災害による停電に備え、高知・虚空蔵山ラジオ固定局の自家発電燃料タンクを200時間分に増量した。また、徳島・牟岐ラジオ、愛媛・宇和島ラジオについてはFM補完中継局の整備を進め、10月28日に徳島・日和佐補完R1（牟岐ラジオ補完局）を開局した。基幹放送所の被災に備えて、徳島局と高松局の会館に非常用テレビ・ラジオの送信設備を整備した。愛媛・宇和海展望タワーに新しくロボカメを設置したほか、離発着する航空機を自動で追尾撮影するシステムを開発し、松山空港に導入するなどした。

### 2. 地域放送の充実

02年の高知以来15年ぶりの四国開催となった第72回国民体育大会（愛顔つなぐえひめ国体）では、総合開会式や競技の中継を通じ、愛媛の風土や選手の活躍を全国の視聴者に届けた。

四国4局の合同キャンペーン『Discover四国』として、四国の魅力や課題を発見・紹介するドキュメンタリーを制作した。

11月にR1全国放送番組『アニメdeつぶや旬575』を松山市内のライブハウスから公開生放送

した。ツイッターやホームページから投稿された俳句を会場で選択するシステムを構築し、選択した俳句は会場の観客にも見えるよう工夫するなど、双方向と公開を生かした演出に努めた。

また、夕方の愛媛ローカル『ひめボン!』でもデータ放送を使ったクイズやアンケートを毎週実施した。

NHK・南海放送・FM愛媛による3局合同生放送『ららららラジオです ラジオ3局合同特別番組「みんなで高める防災力」』をR1で3月に放送し、聴取者の防災意識向上と災害時のメディアとしてのラジオの浸透を図った。

### 3. 放送設備の整備

松山放送会館の無停電電源装置の更新や自家発電機の全分解補修など、会館の電源インフラの整備を進め、放送システムの信頼性を高めた。

放送電波の安定確保については、愛媛・針田ラジオ基幹局のSTL更新、徳島・池田ラジオ固定局自営回線の更新、テレビ中継局の放送機更新（高知・中村局ほか2局）、ラジオ・FM中継局の送信機更新（高知・中土佐局ほか7局）を実施した。

このほか、基幹局・中継局の空中線監視装置の更新と整備（香川・前田山基幹局ほか20局）、放送品質監視装置の更新（愛媛・三瓶局ほか22局）、中継局非常用蓄電池の更新（愛媛・宇和正信局ほか24局）、FM中継放送局の送信アンテナ更新（愛媛・中山局ほか5局）、自家発始動用蓄電池の更新（愛媛・大三島局ほか6局）を実施した。

また、アンテナ鉄塔塗装（香川・綾上局ほか9局）、老朽局舎補修（徳島・一字局ほか5局）、自家発電装置補修（徳島・眉山テレビ基幹局、香川・松縄ラジオ基幹局ほか25局）などの設備補修を実施した。

HZK-2中継車の更新では、モニターの液晶化や照明設備のLED化、軽細ケーブルの採用など軽量化と省スペース化を図り、車内制作環境を改善した。

4Kカメラと編集機やグレーディング装置などを備えた「4K制作室」を松山局に導入し、4K制作に力を入れ始めた。17年度は石鎚山や小豆島の寒霞渓など豊かな風景を題材とした4Kコンテンツを制作した。

### 4. 緊急報道・選挙報道

10月の第48回衆議院議員選挙では、政見・経歴放送や選挙事務所中継を含む開票速報において公平で正確・迅速な放送を行った。



11月と3月に南海トラフ巨大地震などを想定した四国4局合同の緊急報道訓練を実施し、CS経由での管中ニュース配信など、新たな想定も盛り込んで取材からニュース送出までの運用フローを確認した。

2月には高松ヘリポートで四国・技術ヘリ要員スキルアップ研修を実施し、ヘリリポートのスキル向上と搭乗スキル所持者の拡大を図った。

## 5. 良好な受信環境の確保とSHV普及推進

老朽化したNHK共同受信施設の安定受信を図るため、光ファイバー方式による大規模改修工事を仙波（愛媛県）、黒瀬（高知県）など25施設で実施したほか、小規模改修を3施設で実施した。

視聴者からの電話による受信相談（約2,400件）や訪問による技術調査（約480件）を通して安定した受信環境の維持を図った。

また、スーパーハイビジョン普及のため、A-PAB・JEITA・CATV連盟など関連業界と連携して、電器店や工事店を対象とした技術セミナーを四国各地（伊予市・徳島市・高知市・高松市・新居浜市）で開催したほか、CATV技術協会四国支部に委託した講習会を松山市ほか8か所で実施した。

## Ⅲ. 視聴者

### 1. 広報

〔松山局〕

#### （1）地域番組等の番組広報

64年ぶりに愛媛県で開催された「愛顔つなぐえひめ国体」において、メインスタジアムに隣接するおもてなし広場のステージで国体関連番組をPRするミニイベント（10.1）を実施し、来場者に番組紹介チラシの配布を行った。また、新聞テレビ欄色づけ広告も実施し、番組の告知に努めた。

地域放送番組では、午後6時台のニュース情報番組『ひめポン！』と昼前の情報番組『四国おひのクローバー』の大型看板広告を年度当初から4月末にかけて松山市中心街に掲出したほか、市内中心部のアーケード商店街全域において、『連続テレビ小説』『ひよっこ』、『ひめポン！』『四国おひのクローバー』のつりポスター広告および街頭ビジョンでのサイネージ広告を実施した。

そのほか、タウン情報誌への記事広告掲載や、1階ロビーでのキャスターなどの等身大パネルの展示、初回放送日における新聞テレビ欄色づけ廣

告、JR松山駅のデジタルサイネージ広告など、各種PRを展開した。また、全国放送の『俳句王国がゆく』では、各回のチラシをそのつど作成するなど、地域放送番組や、松山局制作の全国放送番組の広報に努めた。

#### （2）地域のみなさまとの絆を強化

4月には、「大河ドラマ『おんな城主 直虎』全国巡回展」（4.4～9）を開催。7月から8月にかけての夏休み期間には、家族単位での特別会館見学イベント「夏休みファミリー見学」（7.31～8.4）を実施し、74家族231人が参加した。

11月には16年度に引き続き、県・松山市・マスコミ各社が催す「えひめ・まつやま産業まつり」と連携し、会館公開「NHKふれあい秋まつり2017」（11.18～19）を開催した。ラジオ番組『アニソン・アカデミー』の公開生放送のほか、『天才てれびくんYOU』トークショーや「ワンワンとあそぼうショー」などの番組と連動したトークショーやキャラクターショー、3式の85型8Kモニターによる映像上映や8K撮影機材展示による「8KSHV体感コーナー」などを展開し、2日間で1万3,600人が来場した。

2月には松山局としては初めて、市内中心部の商店街に8K機材を展開し、「ピョンチャンオリンピック8K受信公開」（2.9～26）を実施し、期間中に9,950人が視聴した。

会館1階ロビーのアートギャラリーでは、地域の趣味サークルなどの団体による幅広い分野の展示を年間36回（うちNHK主催で「大河ドラマ『おんな城主 直虎』全国巡回展」「ぼくの絵わたしの絵展」の2回）実施し、入場者数は3万3,974人だった。また、団体見学者は、小学5年生を中心に83団体3,520人、来局者の総数は8万7,425人だった。そのほか、松山局制作番組やイベント、アナウンサー・キャスター、会館施設などを紹介する総合パンフレットを、春夏号と秋冬号の2回作成して配布した。

#### （3）4K・8K周知広報環境の整備

1階ロビーに16年度に整備した65型4K対応テレビを常設し、松山局制作4K番組の上映を開始したほか、85型8Kモニターを新たに追加で常設し、四国各局で制作した8K番組を上映できる環境を整備した。

#### （4）迅速、的確、誠実な視聴者対応

電話、メール、手紙、来局などにより松山局へ寄せられた質問・意見・要望は、年間で1万6,845件に上った。各部と連携して対応するとともに、番組や業務改善などに反映させた。

**〔高知局〕**

9月に放送された『プラタモリ「#85 高知」』では、商店街やショッピングモールに広告を掲出。県観光振興部や地元新聞社の協力も得ながら、効果的な広報展開を仕掛けた。

1階ギャラリーで、自分で描いたイラストを使って分かりやすく天気を解説する『こうちいちばん』の気象予報士イラストの展示会を実施。2週間で500人を超える来場者があった。

**〔徳島局〕**

4月には、徳島局で独自に制作した4K映像を視聴するモニターを1階ロビーに設置。徳島の四季の風景や阿波踊り・阿波藍などの伝統文化を中心に、『とく6徳島』企画コーナーやミニ番組『スケッチあわ』などで放送したコンテンツを公開した。

8月には、「熱演！真昼の阿波おどり」を3日間にわたって1階ロビーで開催。来館者は1万人近くに上った。イベントの様子は、Eテレで県内向けに放送するとともにホームページでも公開した。また、SNSも活用し、出演連の演舞を1日1連ずつ発信した。

10月には、「NHKアニメ館ひろば」を1階ロビーで開催。徳島市で開催されているアニメイベントの開催時期に併せて実施した。独自の取り組みとして、徳島局のアナウンサー・キャスターをイラスト化して装飾した中継車を公開した。徳島局への来館者数は2日間で約1,500人を記録した。

同じく10月、独自イベント「妖怪ハロウィーンパーティ」を開催。イベントは2部構成で、第1部は局のスタジオでトークイベントを実施。“徳島に昔から伝わる妖怪にまつわる逸話”など、徳島市出身で研究家の山口敏太郎さんらをゲストに招き妖怪トークを繰り広げた。第2部は、徳島市の東新町商店街に会場を移し妖怪コスプレコンテストを開催。参加者は、ハロウィーンのように思い思いの“妖怪コスプレ”を披露した。妖怪トークのようは後日『あわ☆メロR』で放送し、イベントと放送の連動を行った。

**〔高松局〕**

平日夕方の『ゆう6かがわ』改定を受け、SNSを使った広報や、岡山局との共同広報を行った。

8月に中・四国最大級とされる野外音楽フェスを番組化。高松局ホームページでは特設サイトを制作し広報に努めた。

SHVに関して、会館ロビーには本格的な「SHVシアター」を常設しているが、大相撲やピョンチャン五輪などの公開もあり、17年度は2,100人を

超える観客が訪れた。

また、会館内のふれあいギャラリーは、地域の文化サークルなどの団体による展示会や作品発表の場として、年間14回（うちNHK主催「はくの絵わたしの絵展」1回）実施し、3,395人の入場者があった。

**2. イベント事業**

17年度、四国地方では117件のイベントを実施し、11万5,000人の視聴者が参加した。

**（1）全国放送公開番組**

『NHKのだ自慢』『新・BS日本のうた』『ふるさと自慢うた自慢』『俳句王国がゆく』など23本の全国放送公開番組を四国各地で実施した。

**（2）教育・子どもイベント**

「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校・高校放送コンテスト」「NHK放送体験クラブ」（四国各局）、「高専ロボコン四国地区大会」（高知局）などの教育イベントや、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（高知局）、「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（高松局）、「ガラピコぽ～小劇場」（徳島・高松局）などのファミリー向けイベントを実施した。

**（3）展覧会**

「第64回日本伝統工芸展」（高松局）を実施した。

**（4）音楽イベント**

「N響松山定期演奏会」（松山局）、N響メンバーが学校を訪ねる「NHK子ども音楽クラブ」（松山・高松局）を実施した。

**（5）福祉・キャンペーンイベント**

「NHK歳末・海外たすけあい」（四国各局）をはじめ、「NHKハート展」（徳島局）、「NHK介護百人一首パネル展」（高知局）、「ふるさとの食にっぽんの食 地域フェスティバル」（徳島局）、「愛媛防災シンポジウム」（松山局）など全国キャンペーンと連動したイベントを実施した。

**（6）スポーツイベント**

「ラジオ体操・みんなの体操会」（高知・徳島・高松局）、「各県サッカー選手権大会（天皇杯県代表決定戦）」（四国各局）、「松岡修造のテニスパーク」（高松局）のほか、地域のスポーツ大会を実施した。

**（7）地域への貢献イベント**

各地域ならではのテーマを題材にした新規イベントとして、「アニメdeつぶや句575」（松山局）、「妖怪ハロウィーンパーティ」（徳島局）、「丸亀

なでしこ☆FESTA」(高松局)を実施した。また、四国4県の小学生チームが参加した「NHKそれいけ!俳句キッズ」(松山局)ほか、地域放送に連動したイベントを各放送局で実施した。

### 3. 営業

3か年経営計画の最終年度となる17年度は、受信料の公平負担に向けて「支払率の向上」と「衛星契約割合の向上」に継続して取り組んだ。契約収納体制の整備に努め、新たに法人委託事業者5社と委託契約を締結し、年度末には16社、18エリアとなった。併せて、四国内を広範に活動する法人委託事業者2社を効果的に運用した。

各法人への要員拡充要請と育成支援による体制強化を図るとともに、全訪問要員の活動改善にも取り組んだ。また、視聴者に信頼される営業活動を推進し、応接マナーの向上や適正な手続きの徹底を図り、各種講習会や日常的な指導に努めた。

職員による事業所契約増加にも年度を通して注力した。各局の計画的な対策とともに合同の集中対策を行い、年間取り次ぎ計画数を確保。受信契約数増加の大きな要素となった。

他部門と連携した「ターゲット80」活動では、四国全局で法人事業者や個人委託募集のスポットを作成したほか、賃貸不動産事業者には防災グッズを配布、ケーブルテレビ事業者に向けては制作講習会を開くなど各委託先との関係を強化し、特約店による取り次ぎの向上を図った。

このほか、民事手続きでは支払い督促と未契約世帯に対する提訴、民事調停を活用した事業所契約の適正化などを進め、公平負担の徹底に努めた。

各種の取り組みを最大限効果的に実施したことにより全営業目標を達成した。

## 九州・沖縄

### I. 放送

#### 1. 放送の概要

##### (1) 九州北部豪雨

17年7月5日から6日にかけて九州北部地方を記録的な豪雨が襲った。福岡県朝倉市で24時間に545.5ミリ、大分県日田市で370ミリの観測史上最多を記録した。同じ場所に猛烈な雨が継続し、福岡県と大分県で土砂崩れや川の氾濫が相次ぎ、山あいの集落では地形が変わるほどの甚大な被害が出た。

この豪雨では、福岡県で災害関連死1人を含む37人、大分県で3人の計40人が死亡し、福岡県朝倉市の2人が行方不明となっている。また、両県で自宅が被害を受けた約3,000人が避難所に身を寄せ、18年3月現在も福岡県の朝倉市と東峰村に建設された仮設住宅に220人、福岡・大分両県のみなし仮設住宅などに約1,000人が避難している。NHKは、朝倉市に記録的短時間大雨情報が出た直後の5日午後1時40分から九州・沖縄ブロックで特設ニュースを立ち上げ、午後2時前からL字型常時スーパー、7日からライフライン放送を開始した。そして8月6日までの1か月間、東京や全国各地から応援を得て、被災地に向けたきめ細かな情報を間断なく発信し続けた。

また『NHKスペシャル』「九州北部 記録的豪雨はなぜ」(7.9)、九州・沖縄ブロックでの豪雨1週間と1か月の特番(7.12, 8.5)、『クローズアップ現代+』「多発する“記録的大雨(キロクアメ)”新たなリスク」(9.12)で、空前の豪雨被害のメカニズムや被災者が直面している厳しい現実を深く掘り下げた。被災地には課題が山積しており、毎月5日の節目に、被災集落の再建に向けた動きや豪雨で家族を失った遺族のその後、次の大雨に備えた対策などを継続して取材・放送した。

##### (2) 災害・気象

鹿児島と宮崎の県境にある霧島連山の新燃岳は17年10月11日に噴火し、いったん落ち着いたものの18年3月6日、7年ぶりの爆発的噴火が発生するなど活動が活発化した。NHKは再噴火が始まった3月1日や、噴煙が4,500メートルに達して警戒範囲が4キロに拡大された3月10日に九州・沖縄ブロックで特設ニュースを放送し、防災情報などを詳しく伝えた。



また、各地で地震が相次ぎ、17年6月20日には大分県佐伯市で震度5強、7月2日に熊本県産山村で震度5弱、7月11日に鹿児島市で震度5強、18年3月1日に沖縄県西表島で震度5弱の揺れを観測した。

17年、九州・沖縄に影響を及ぼした台風は5つで、このうち台風3号が長崎市付近（7月）、台風18号が鹿児島県南九州市付近（9月）に上陸し、全国放送や九州・沖縄ブロック、各局のローカル放送を組み合わせながら防災・減災に向けた特設ニュースを放送した。

### （3）選挙報道

4月、衆議院小選挙区の区割り変更を検討する政府の検討会が、19都道府県の97選挙区について、区割りの見直しを求める改定案を首相に勧告した。九州・沖縄では熊本と鹿児島で小選挙区が1つずつ減ったほか、福岡と長崎で区割りの線引きが変更された。各局では、区割り変更の影響について、地図を用いるなどして解説を行ったほか、選挙区が減る県については、候補者調整を巡る動きを伝えた。

9月25日、安倍首相が衆議院を解散する意向を表明し、その3日後、衆議院は解散された。解散当日に、野党第1党である民進党が希望の党への事実上の合流を決めるなど、極めて流動的な政局の中での解散だった。各局は直ちに当選確実判定や放送に向けて全局態勢の構築に当たるとともに、野党の候補者擁立に向けた動きを伝えた。

投票日前日から当日にかけて台風21号が接近したことから、各局は、台風取材の態勢も取りつつ、選挙報道にも当たった。管内では20の小選挙区で午後8時、当選確実を打ち出した。それ以外の主な選挙区では、熊本2区が午後10時40分、沖縄1区が11時7分、大分1区が11時20分、長崎1区が11時22分、鹿児島1区が翌日の午前0時34分、福岡2区が1時4分に当選確実をそれぞれ打ち出した。

佐賀2区と沖縄4区では、台風の影響で開票所に投票箱が届かなかったことから、当選確実の判定を翌日に持ち越した。沖縄4区では翌日の午後2時38分、佐賀2区では午後4時24分にそれぞれ当選確実を打ち出した。

18年1月28日、宮崎市長選挙が行われた。3期目を目指す現職に、県議会議員出身の36歳の新人らが挑む構図となった。NHKは、他社に先駆けて午後11時14分、現職に当選確実を打ち出した。

2月4日、長崎県知事選挙と沖縄県の名護市長選挙が行われた。長崎県知事選挙は、3期目を目

指す現職に、新人が挑む構図となったが、午後8時に現職に当選確実を放送した。名護市長選挙は、沖縄のアメリカ軍普天間基地の移設阻止を掲げる翁長知事の全面的な支援を受けた現職に、政権与党の支援を受けた新人が挑む構図となった。各党とも国政選挙並みの態勢で臨み、全国的に注目を集めたが、NHKは他社に先駆けて午後10時28分に、新人に当選確実を打ち出した。

### （4）事件・事故

沖縄で米軍機の事故やトラブルが相次いだ。5月、嘉手納基地の戦闘機から重さ約2キロの部品が落下。6月、普天間基地の大型ヘリが不具合を示す計器の点灯により久米島空港に着陸。また、普天間基地のオスプレイが警告灯点灯で伊江島補助飛行場に着陸。9月、オスプレイが新石垣空港に緊急着陸。10月、普天間基地の大型ヘリが東村の牧草地に緊急着陸し炎上。12月、普天間基地を離陸した大型ヘリから小学校のグラウンドに重さ約8キロの窓が落下した。1月、普天間基地の輸送ヘリが警告灯点灯で伊計島に着陸したほか、攻撃ヘリが読谷村の民間地や渡名喜島に緊急着陸した。相次ぐ事故やトラブルに地元では反発の声が強まった。

金塊取引に絡む事件も注目を集めた。4月、福岡市中央区天神で金塊取引のために銀行から引き出されたばかりの3億8,000万円が奪われた。被害者は東京の金属取引会社の男性で、たびたび福岡を訪れていた。同じ日に福岡空港から7億3,000万円の現金を国外に持ち出そうとしていたとして韓国人4人が逮捕された。強盗事件とは無関係だったが、4人は金塊密輸組織のメンバーと判明し、金塊密輸でも摘発された。5月、16年に福岡市博多区で7億5,000万円分の金塊が盗まれた事件で愛知県の前などが逮捕された。6月、佐賀県唐津市の漁港に金塊200キロが密輸され中国人と日本人が逮捕された。金塊取引の裏側や密輸急増の背景について、5月19日『なるほど実感報道ドドド!』、23日の『クロズアップ現代+』などで伝えた。

過去に起きた事件の再審を巡る決定も相次いだ。6月、38年前に鹿児島県大崎町で義理の弟を殺害したとして懲役10年の刑が確定し服役した90歳の女性について鹿児島地裁は再審を認める決定をした。その後、福岡高裁も認めた。11月、32年前に熊本県で男性が殺害された事件で懲役13年の刑が確定し服役した84歳の男性について福岡高裁は熊本地裁に続き再審を認めた。いずれも検察が決定を不服として抗告した。一方、福岡県で小学



生2人が殺害された飯塚事件は2月、すでに死刑が執行された元死刑囚の再審請求が高裁でも退けられた。

特定危険指定暴力団工藤会（北九州市）の捜査や裁判に大きな動きがあった。1月、11年の建設会社役員射殺事件、6月、12年の飲食店女性経営者切りつけ事件、9月、11年の大手建設会社事務所への拳銃発砲事件、11月、10年の自治総連合会長宅への発砲事件で工藤会幹部らが再逮捕された。裁判では3月、一連の事件で初の判決が元組員に言い渡され、元警部銃撃事件などでトップの野村悟被告の指示があったと認定された。10月には上納金脱税事件で野村被告の裁判も始まった。

このほかの主な事件・事故、裁判は以下の通り。

4月、違法な資金集めをしたとして国際手配されタイで身柄を拘束された熊本県益城町出身の63歳の女が、日本に移送され出資法違反容疑で逮捕された。女はその後、詐欺罪で起訴された。

同月、諫早湾干拓事業を巡り長崎地裁は農業者側の訴えを認め開門禁止を命じる判決を言い渡した。開門を命じた10年の確定判決とは逆の判断になった。福岡局、長崎局、佐賀局、熊本局では午後6時10分からニュースの前半で各局を結ぶインターローカルを実施し、各地の反応などを伝えた。

5月、北九州市小倉北区で日雇い労働者などが暮らすアパートが全焼し6人が死亡した。家賃が安く生活保護受給者なども入居していた。古い建物のため消防は防火対策の検査対象として把握できていなかった。

6月、福岡県小郡市の住宅で母親と小学生の兄妹の親子3人が殺害されているのが見つかり、父親の警察官が殺人容疑で逮捕された。一貫して犯行を否認した。福岡県警では警察官や職員による事件や不祥事が相次ぎ23人が懲戒処分となって過去10年で最悪となった。

9月、沖縄戦の集団自決があった読谷村の自然洞窟「チビチリガマ」が荒らされているのが見つかり、地元・沖縄の少年4人が器物損壊容疑で逮捕された。少年らは過去の歴史を知らず、記憶の継承や平和教育の課題が改めて浮き彫りになった。

9月、宮崎市の食堂で男性店長がアイスピックで刺されるなどして殺害され、客の62歳の男が殺人容疑で逮捕された。男は事件後に大分県で車を盗んで逃走したとして新潟県内で逮捕・起訴されていた。

## (5) スポーツ

プロ野球パ・リーグで「ソフトバンク」が2年ぶりにリーグ優勝し、「DeNA」との日本シリーズにも勝って日本一に輝いた。抑えのサファテ投手がプロ野球新記録となる54セーブをマークして優勝に貢献した。サッカーのJリーグ2部、J2で「V・ファーレン長崎」が2位になり、悲願のJ1昇格を果たした。パラ陸上・マラソン女子の、目に障害のあるクラスで福岡県の道下美里選手が、山口県で行われた大会で2時間56分14秒の世界新記録をマークした。

## (6) 地域放送

総合テレビは、平日午後6時台の各地のニュース・情報番組、『はっけんTV』などで地域のニュースや話題、生活に身近な情報をきめ細かく伝えた。金曜夜間では、『なるほど実感報道ドドド!』で九州・沖縄が抱える課題など、幅広いテーマを身近な目線で分かりやすく伝えた。九州北部豪雨災害に関しては、平日午後6時台および金曜夜間の定時番組や特集番組で、被災地の現状と復興に向けた課題を継続して伝えた。このほか、宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録、プロ野球「ソフトバンク」戦の中継、『福岡発地域ドラマ「You May Dream」』、音楽番組『サクラライブ』など、多彩な番組を九州・沖縄域内に向けて放送した。また、プロ野球「ソフトバンク」のリーグ優勝および日本シリーズ優勝時には優勝特番を放送し、優勝に沸く地域の視聴者の関心に応えた。

ラジオでは平日午後5時台の『はっけんラジオ』を継続し、熊本地震や九州北部豪雨など相次ぐ災害を受けて、“地域の安全・安心ラジオ”としての機能強化に努めたほか、インターネットラジオ「らじる★らじる」の普及にも取り組んだ。また、FM放送では九州・沖縄の若者に向けた『JO“C&K” Presents がめにラジオ』を年10本放送。地元こだわったトークと音楽で公開収録を行い、聴取者との結び付き強化にも取り組んだ。

## 2. 地域放送番組

### (1) 定時番組

〔九州・沖縄ブロック〕

『なるほど実感報道ドドド!』 G

金 19:30~19:56

Ⓜ日 7:45~ 8:11

第1回16.4.22/生放送の報道情報番組。どうなってるの? どうしてなの? どうすればいいの? という3つ“ド”を使って、地域の課題や事件・事故、話題のテーマを取り上げ、より親し

みやすく分かりやすいスタイルで伝えた。／各局  
タイトル：北九州『北九州×クロス』、熊本『く  
まもとの風』、長崎『長崎人（じげもん）』、鹿児  
島『かごスピ！』、宮崎『宮崎熱時間』、大分『フ  
カナビ！オオイタ』、佐賀『佐賀イズム』、沖縄『き  
んくる～沖縄金曜クルーズ』

『アサタビ！』 G

(年8本) 日 7:45～8:10

第1回16.5.8／温かい出会いを求めて九州・沖  
縄8県を巡る旅番組。毎回俳優・タレントが旅人  
となって魅力あふれる地域の人々、自然・歴史・  
食べ物などを訪ねた。とっておきの風景や名物を  
紹介するアサ自慢のコーナーも好評。

『おはサタ！』 G 土 7:30～8:00

第1回14.4.5／地域の問題をより深く、魅力的  
に伝えるニュース情報番組。九州・沖縄ゆかりの  
著名人とのトークや「西日本の旅」、特集企画や  
生中継などで構成した。気象コーナーはデータ放  
送の双方向ボタンを使った視聴者参加型とした。

『はっけんTV』 G

九州ブロック 月～金 11:30～11:45

福岡県域 月～木 11:45～12:00

福岡単 金 11:45～12:00

第1回13.4.3／九州・沖縄“8県（はっけん）”  
の今を“発見（はっけん）”する番組。各県の行  
楽・イベント情報など、九州・沖縄のネットワ  
ークを生かして生放送で伝えた。福岡・北九州局は、  
11時45分から引き続き県域（金曜は単）で、暮ら  
しに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：  
北九州『きたきゅう たいむ』、熊本『テレメッ  
セくまもと』、長崎『ながさきナビゲーター ヒ  
ルミテ』、鹿児島『ひるまえクルーズかごしま』、  
宮崎『昼前ほっとみやざき』、大分『好きっちゃ  
おおいた』、佐賀『ひるまえ情報便』、沖縄『沖  
縄ちゅらTV』

『おはよう九州沖縄』 R1

月～土 7:40～7:58

九州・沖縄のニュースや気象・交通情報、地域  
のホットな話題で構成する生活情報番組。

『はっけんラジオ』 R1

月～金 17:00～17:55

第1回13.4.1／各地の自治体や防災士などの  
関係づくりを進め、ふだんからラジオを聴いても  
らうことで、“地域の安全・安心ラジオ”の機能  
強化に努めた。ニュース・気象予報や防災対策情  
報に加え、身近な地域の情報などを、福岡局の  
スタジオから生放送で伝えた。九州・沖縄各県の放  
送局（北九州を除く）から出前放送を行った。

〔県域〕

『ロクいち！福岡』 G

福岡単 月～金 18:10～19:00

第1回15.3.30／福岡のその日の出来事を、いち  
ばん早く、詳しく、分かりやすく伝える「地域い  
ちばん」のニュース番組を目指した。事件・事故  
などの最新情報、暮らしに直結する重要課題の行  
方、東京や世界などの動きと福岡との関わり、ス  
ポーツ、街角情報などを分かりやすく伝えた。／  
各局タイトル：北九州『ニュースブリッジ北九  
州』、熊本『クマロク！』、長崎『イブニング長崎』、  
鹿児島『情報WAVEかごしま』、宮崎『イブニ  
ング宮崎』、大分『しんけんワイド大分』、佐賀『ニ  
ュースただいま佐賀』、沖縄『おきなわHOTeye』

『NHKニュース おはよう日本』 G

福岡県域、各局単 月～金 7:45～7:51

九州・沖縄ブロック 月～金 7:51～8:00

第1回93.4.5／福岡県域・各局単の時間帯は、  
各県のニュース・気象情報。ブロック時間帯は、  
各局のネットワークを生かした広域ニュースやリ  
ポート企画で構成。

(2) 特集番組

〔九州・沖縄ブロック〕

『報道特別番組』『熊本地震から1年』 G

(熊本) 4.14/16:50～18:30

『なるほど実感報道ドドド！』 G

「熊本地震から1年 被災地のいま、これから」

(福岡・熊本) 4.14/19:32～20:44

「九州北部豪雨から1か月」

(福岡・大分) 8.4/19:30～20:00

『なるほど実感報道ドドド！アジアSP』 G

「中国 環境汚染に挑む～九州の技術を生かせる  
か～」 (福岡) 9.22/19:30～19:56

「九州に学べ 高齢者福祉 東南アジアの期  
待」 (福岡) 1.12/19:30～19:56

「地域再生請負人ラオスでの挑戦～人が変われ  
ば地域が変わる～」

(沖縄) 2.2/19:30～19:56

『九州沖縄特集「阿蘇に復興の灯をともしたい～  
南阿蘇村・地震から1年～」』 G

(福岡) 5.28/13:05～13:48

『平成29年沖縄全戦没者追悼式』 G

(沖縄) 6.23/11:45～11:54

※12:20～12:45で全国放送

沖縄は県域で11:54～12:20でマルチ編成  
『報道特別番組「被災地で、いま何が～“記録的  
豪雨”1週間～」』 G

(福岡) 7.12/19:30～20:15

『世界文化遺産 登録決定スペシャル「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』 G  
(福岡) 7.28/20:00~20:43

『長崎原爆の日〜核廃絶“元年”核なき世界は近づいたか〜』 G (長崎) 8. 9/18:10~18:45

『谷口稜嘩さんをしのいで NHKスペシャル選「赤い背中 原爆を背負い続けた60年」』 G  
(長崎) 9. 2/10:05~10:59

『春から夏へ 睦子ばあちゃんと花畑〜福岡 能古島〜』 G (福岡) 9.15/19:30~19:56

『祝! リーグ優勝 福岡ソフトバンクホークス』 G (福岡) 9.16/22:45~22:55, 23:10~ 0:00

『ドキュメント 断層帯を行く ~熊本地震から1年半〜』 G (熊本) 10.20/20:00~20:43

『祝! 日本一! 福岡ソフトバンクホークス』 G (福岡) 11. 4/23:25~ 0:00, 1:35~ 2:55

『大相撲前夜祭で楽しもう! ~大相撲九州場所直前スペシャル〜』 G  
(福岡) 11.11/15:45~16:28

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017「九州沖縄地区大会」』 G  
(福岡) 11.23/10:05~10:59

『海に恋して 森を愛して〜4Kで描く奄美〜』 G  
(鹿児島) 12. 8/19:30~19:56

『もうひとつの たからのとき』 G  
(福岡) 12. 8/20:00~20:43

『LIFE! ~熊本に捧げるライブ〜』 G  
12.15/19:30~19:59

『首里現代音宴』 G  
(沖縄) 12.25/22:00~22:59

『九州の祭り ~ユネスコ無形文化遺産登録〜』 G  
(福岡) 12.29/13:05~13:48

『祈りの原風景を見つめて~世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群〜』 G  
(福岡) 12.29/13:50~14:33

『秋から冬へ 睦子ばあちゃんと花畑 ~福岡 能古島〜』 G (福岡) 1. 5/19:30~19:56

『西郷隆盛 紀行 南の島での“誓い”』 G  
(鹿児島) 2. 2/20:00~20:43

『福岡発地域ドラマ「You May Dream」』 G  
(福岡) 3. 2/19:30~20:43

『サクライブ』 G (福岡) 3.20/22:00~23:00

『世界遺産への道』 G  
(福岡) 土 12:40~12:45ほか  
日 5:55~ 6:00ほか

『ふるさとのたから』 G 19:55~19:57ほか

『維新の傑物たち』 G  
(福岡) 20:43~20:45ほか

『JO “C&K” Presents がめにラジオ』 FM  
(年10本) 21:00~22:00ほか  
[県域]  
[福岡局]

『ふく! なび』 G  
(月2回) 水 20:43~20:45ほか

『おいでよ! NHKどんたく広場 夢みるチカラ in 福岡 2017→2020』 G  
5. 3/ 9:55~10:00ほか

『博多祇園山笠2017』 G 7.15/ 4:30~ 6:00

『中継スペシャル 大濠花火大会』 G  
8. 1/19:30~20:44

『九州北部豪雨1か月』 R1  
8. 4/16:00~16:55

『ライフ・サポーター あなたを守る防災ラジオ「九州北部豪雨からの教訓」』 R1  
3.17/12:15~12:55  
[北九州局]

『ハレピョンカフェ』 新 G  
土 12:43~12:45  
[熊本局]

『熊本地震 被災地からの声』 G  
(隔月第1) 土 11:00~11:25

『NHK熊本放送局 新会館開館特番「新会館すこいぜ! ふらりと来てはよいよ〜」』 G  
6.17/10:55~11:50

『熊本城再建の軌跡 第1集「2016年~2017年」』 G 12.16/15:50~16:15

『くまもとの風スペシャル』 G  
「地震で水が襲ってきた ~南阿蘇村立野・複合災害の現実~」 12.16/16:15~16:58  
「あした、石牟礼道子を読む」  
2. 4/13:05~13:48  
「始動! 熊本城復旧プロジェクト」  
3.28/19:30~20:15

『2017 防災・命のラジオ』 R1  
9. 1/12:20~13:00

『出張! 美術館コンサートinNHK熊本』 FM  
3. 2/18:00~18:50  
[長崎局]

『ドキュメンタリードラマ「あんどき、」』 G  
5. 4/19:30~20:43

『Sweet Island HIRADO』 G  
5.27/10:55~11:21

『被爆体験記 朗読シリーズ「ナガサキ 被爆の記憶」』 R1・FM  
7.21, 26~28, 31, 8. 2~ 4,  
7~10, 14, 16~17/11:55~12:00

『追悼 谷口稜暉さん・土山秀夫さん』 G 9. 8/19:30~19:56	〔佐賀局〕
『長崎くんち2017』 G 10. 9/ 8:15~11:00	『ガタの国から~佐賀発地域ドラマ~特別版』 G 7.14/19:30~20:43
『V・ファーレン長崎 J1昇格記念特番 いざ 夢 の舞台へ~V・ファーレン長崎 J1昇格~』 G 11.24/19:30~19:56	『佐賀ラジオ防災特集「いま、はじめよう! 防災 生活」~いざ、そのとき“助かる”ために~』 R1 6.17/ 9:05~ 9:55
『長崎人(じげもん) SP アメリカ人が伝える 「被爆者」~「赤い背中」谷口稜暉さんが残し たもの~』 G 1.28/13:05~13:50	『地域応援特集「干潟がつなぐ地域の絆~佐賀発 地域ドラマ“ガタの国から”の舞台』 R1 7. 8/ 9:05~ 9:55
〔鹿児島局〕	『YUYAのオーレ! サガン鳥栖』 R1 月 19:30~19:40
『フォーラム がんと生きるin鹿児島~最新治療 と自分らしい暮らし~』 G 7. 9/13:05~13:48	〔沖縄局〕
『あなたの英雄(ヒーロー) 誰ですか? ~時代 を変えた薩摩の男たち~』 G 10.20/19:30~20:43	『きんくるスペシャル』 G 「沖縄カタリバ! ~復帰45年と、これから~」 5.15/19:30~20:45
『もうすぐ「西郷どん」放送直前スペシャル』 G 1. 4~ 5/18:10~18:45	「新生キングス 王者への道」 10.20/20:00~20:43
『鹿児島防災シンポジウム』 G 3. 3/10:05~11:18	『沖縄の歌と踊り』 G (月1回) 日 13:05~13:48
『NHKふれあい広場2017スペシャル』 R1 4.29/14:05~15:00, 15:05~15:55	『旧盆特集・元ちゃん劇場「息子の家出」』 G 9. 9/10:05~11:05
『辛島美登里のFMリクエストアワー』 FM 4.30/14:00~16:00	『おきなわ新喜劇「オキナワンアーミー」』 G 3.17/10:05~11:00
『夏休み 子ども“西郷どん”電話相談』 FM 8.27/14:00~16:00	〔各局共通〕
『かごしまミッドナイト文学館~海音寺潮五郎の 世界』 FM 11.23/ 0:00~ 1:00	『第84回NHK全国学校音楽コンクール』
『歴史シンポジウム~西郷南洲翁遺訓』 FM 12.10/14:00~16:00	〔九州・沖縄ブロック〕
〔宮崎局〕	九州・沖縄ブロックコンクール 小学校・中学校・高等学校の部 E 9.23/14:00~17:00
開局80年関連	〔各県域〕
『宮崎放送局 開局特集「一挙蔵出し! 宮崎80 年スペシャル」』 G 4.19/19:30~20:15	福岡県コンクール E
『プレミアムドラマ 宮崎局発地域ドラマ「命の あしあと」特別編成』 G 5.28/13:50~14:49	小学校 8.26/12:25~14:00
『宮崎のふたり 特別版~宮崎発地域ドラマ~』 G 6. 1/19:30~20:43	中学校 9. 2/12:30~15:00
〔大分局〕	高等学校 8.26/ 9:30~10:17
『フカナビ! オオイタ スペシャル「なぜ 悲劇は 生まれたのか~写真家・船尾修 旧満州の旅~」』 G 7.29/10:05~10:49	熊本県コンクール FM
『NHK大分ラジオ特番「被災地からの教訓~九州 北部豪雨から1ヶ月~』 R1 8. 4/16:05~16:55	小学校(前半) 8.21/18:00~18:50
『4時ラジ・おおいた(仮)』 R1 (7回) 16:05~16:55ほか	小学校(後半)・高等学校 8.22/18:00~18:50
	中学校 8.23~25/18:00~18:50
	長崎県コンクール FM 8.27/14:00~16:00
	鹿児島県コンクール FM 8.28/14:00~15:50
	宮崎県コンクール FM 8.21~25/18:00~18:50
	大分県コンクール FM 8.20/14:00~17:00
	佐賀県コンクール FM 8.19/ 9:00~11:00
	沖縄県コンクール E
	中学校 8.26/10:00~11:17
	小学校 8.26/12:30~14:00



## 〔各局発全国放送〕

『たからのとき～福岡発地域ドラマ～』(福岡)	
G 12. 9/15:06～16:05	
BSP 5.17/22:30～23:29	
『熊本地震追悼式』 G	
(熊本) 4.14/ 9:55～10:31	
『平成29年沖縄全戦没者追悼式』(沖縄)	
G 6.23/12:20～12:48	
R1 6.23/12:20～12:55	
『平成29年 長崎平和祈念式典』(長崎)	
G 8. 9/10:30～11:50	
R1 8. 9/10:55～11:36	
『長崎原爆の日ラジオ特集 姉が遺(のこ)した被爆の記憶』 R1(長崎)	8. 9/21:05～21:55
『大搜索ドキュメント! 屋久島“伝説の超巨大杉”』 G	(福岡) 8.15/22:00～22:49
『ノーナレ「元ヤクザ うどん店をはじめます」』 G	(福岡) 8.21/22:00～22:25
『第37回 全国豊かな海づくり大会 福岡大会』 G	(福岡) 10.29/14:10～14:35
『海に恋して 森を愛して～4Kで描くAMAMI～』 G	(鹿児島) 1. 3/18:05～18:48
『もうひとつの たからのとき』 G	(福岡) 12. 9/16:05～16:48
『NHKスペシャル』 G	
「大地震 あなたの家はどうなる?～見えてきた“地盤リスク”～」	(熊本) 4. 9/21:00～21:49
「熊本城 再建 “サムライの英知”を未来へ」	(熊本・福岡) 4.16/21:00～21:49
「本土空襲 全記録」	(鹿児島・宮崎) 8.12/21:00～21:49
「スクープドキュメント 沖縄と核」	(沖縄) 9.10/21:00～21:50
『クローズアップ現代+』 G	22:00～22:25
「熊本地震 知られざる“情報爆発”～追跡・SNS2600万件～」	4.13
「沖縄復帰45年 深まる本土との“溝”」	5.15
「金塊・闇の“錬金術”～私たちの税金が奪われる～」	5.23
「僕の生みの親はどこに 10年後の赤ちゃんポスト」	6. 8
「“異常な”豪雨が街を襲う～緊急報告 九州北部記録的豪雨～」	7. 6/22:00～22:40
「多発する“記録的大雨(キロクアメ)”新たなリスク」	9.12
「“ドラレコ”革命～危険な運転を炙(あぶ)り出せ～」	1.29

「思いがけない退去通知 あなたも住宅を追われる!？」	2. 1
「ドキュメント名護市長選」	2. 5
『目撃! にっぽん』 G	日 6:15～6:49
「阿蘇 それでも草原と生きる～熊本地震・牛飼いたちの1年～」	(熊本) 5.28
「祖父が残した遺言～米軍カメラマンが記録した戦争～」	(鹿児島) 10. 1
「古民家をふるさとに～大分・日田 豪雨からの再出発～」	(大分) 11.19
「おばあたちの農連市場～消えゆく“沖縄”を見つめて～」	(沖縄) 12.17
『にっぽん紀行』 G	18:10～18:43ほか
「絶海に生きる“家族船”～長崎・男女群島～」	(長崎) 7.17
「ペダルを踏んで届ける元気～熊本 自転車販売のケーキ職人～」	(福岡) 8.14
「南の島の“まごころ”弁当～奄美 大和村～」	(鹿児島) 9.18
『ドキュメント72時間』 G	金 22:50～23:15
「トラック一人旅 風に吹かれて」	(佐賀) 6.30
『プロフェッショナル 仕事の流儀』 G	月 22:25～23:14
「いまこの瞬間に、全力を～吹奏楽音楽監督・藤重佳久～」	(長崎) 3.26
『今夜も生でさだまさし』 G	
「長崎名物ちゃんぽんカステラさだうどん」	(長崎) 11. 5/ 0:05～1:35
「～おーいったショートタイム!～」	(大分) 11.26/ 0:05～1:35
『小さな旅』 G	日 8:00～8:25
「乾きの里 潤う時～大分県・国東市～」	(大分) 4.23
「千代の風吹く草原で～熊本県 阿蘇山～」	(熊本) 12.17
「水の都に春が来て～長崎県 島原半島～」	(長崎) 4. 1
『ひるブラ』 G	12:20～12:43
「いっチャイナ!長崎冬のランタン祭り～長崎市 新地中華街～」	(長崎) 2. 7
『探検バクモン』 G	水 20:15～20:43
「熊本城 第2弾」	(熊本) 7.26
『さわやか自然百景』 G	日 7:45～7:59
「宮崎 猪八重(いのはえ) 渓谷」	(宮崎) 5.14
「阿蘇 大草原 春から初夏」	(熊本) 7.23
「大分 高島」	(大分) 9. 3

『うまいっ!』 G 日 8:25~ 8:55  
 「鮮度抜群! シャキシャキのキュウリ~宮崎県  
 宮崎市~」 (宮崎) 4.16

『明日へ つなげよう』 G  
 「わたしの熊本城」(熊本) 4.16/10:05~10:48  
 「ピアノとバーベルと涙~16歳 熊本地震1年  
 半~」 (熊本) 10.15/10:20~11:03

『ぐるっと にっぽん』 G  
 「くまもとの風 阿蘇 岐路に立つ草原~熊本  
 地震から8か月~」  
 (熊本) 4.15/15:05~15:34  
 「くまもとの風 益城町 遠い復興~地盤に不  
 安を抱えて~」 (熊本) 4.15/15:34~16:02

『インタビュー ここから』 G 6:30~ 6:53  
 「具志堅用高」 (沖縄) 5. 5  
 「女優・財前直見」 (大分) 2.12

『名曲アルバム』 G  
 「別府音頭」 (大分) 12. 3/ 4:20~ 4:25

『ダイスキ! フェス』 G  
 (福岡) 4. 8/ 0:55~ 2:20

『ETV特集』 E 土 23:00~23:59  
 「あの“場所”はないけれど~熊本地震 中学  
 3年の一年~」 (熊本) 4.15  
 「南阿蘇 傷ついた大地で~熊本地震から1年  
 2か月~」 (熊本) 6.17  
 「原爆と沈黙~長崎浦上の受難~」  
 (長崎) 8.12  
 「居場所があれば立ち直れる~累犯障害者 社  
 会で生きるために~」 (福岡) 2.24

『ハートネットTV』 E 20:00~20:29  
 「少女を非行から救え~福岡・更生保護の現場  
 から~」 (福岡) 4.25  
 「ブレイクスルー File.84 性別にとらわれず  
 生きる-Xジェンダー・まあ~ちゃん-」  
 (福岡) 8. 7

『人生デザイン U-29』 E 火 23:00~23:24  
 「遺品整理会社経営」 (大分) 7.18  
 「ゲストハウス経営」 (佐賀) 12. 5  
 「小学校教師」 (北九州) 1.23

『日曜美術館』 E 日 9:00~10:00  
 「糸から生まれる“無限の世界”~ヌイ・プロ  
 ジェクトの挑戦~」 (鹿児島) 6.25

『にほんごであそぼ 元気コンサート+ロケin長  
 崎』 E (長崎) 7. 9/16:15~17:00

『あつまれ! ワンワンわんだーらんど』 E  
 (長崎) 3.25/ 7:30~ 8:00

『こころの時代~宗教・人生』 E  
 日 5:00~ 6:00

「ほっとけない ただ共にある」(熊本) 7.23  
 「102歳 韓国に生きる」 (福岡) 11.12

『先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)』 E  
 火 22:00~22:44  
 「自分はいつでも変えられる!~大隈重信 50  
 代からの愛され術~」 (佐賀) 12.12  
 「しがらみから独立しよう!~福澤諭吉 新し  
 い世界の切り開き方~」 (大分) 2.13

『BS1スペシャル』 BS1  
 「よみがえれ 熊本城 サムライの“英知”を  
 未来へ」 (熊本) 6.24/20:00~21:49  
 「沖縄と核」 (沖縄) 12.17/22:00~23:49

『アスリートの魂』 BS1 土 0:00~ 0:44  
 「真の“世界最速”へ 競泳・渡辺一平」  
 (大分) 4.29

『ガタの国から~佐賀発地域ドラマ~』 BSP  
 (佐賀) 7.19/22:00~22:59

『博多祇園山笠2017』 BSP  
 (福岡) 7.30/11:00~11:59

『GO! GO! フィルムタウン~北九州発地域ド  
 ラマ~』 BSP (北九州) 10.18/22:00~22:59

『豪華絢爛(けんらん) 長崎くんち2017』  
 BSP (長崎) 10.30/ 0:20~ 1:44

『新日本風土記』 BSP 金 21:00~21:59  
 「対馬」 (長崎) 10. 6  
 「有明海」 (佐賀) 1.26  
 「熊本」 (熊本) 2.23

『首里現代音宴』 BSP  
 (沖縄) 2.25/22:50~23:49

『来なっせ。見ちよくれ。熊本・大分のいま』  
 R1 (熊本・大分・福岡) 4.16/10:05~11:50

『ラジオ文芸館』 R1 土 8:05~ 8:45  
 「街の分かれ道」 (福岡) 6.10  
 「海の見える理髪店」 (熊本) 12. 9  
 「指のたより」 (福岡) 3.24

『今日は一日“安室奈美恵”三昧 in  
 OKINAWA』 FM  
 (沖縄) 8.14/12:20~18:50, 19:30~21:00

『邦楽のひととき』 FM 11:20~11:50  
 「琵琶」 (福岡) 9.27  
 「箏曲・尺八」 (福岡) 1.15

**3. スポーツ中継**  
 [高校野球]  
 第99回全国高校野球選手権大会・地区大会  
 福岡大会 準決勝 G・E・R1/ 7.27  
 決勝 G・R1/ 7.28  
 熊本大会 準決勝 G・E・R1/ 7.23

	決勝	E・FM	7.24	鹿児島大会	G	4.9
長崎大会	準決勝	G・E・R1	7.22	宮崎大会	G	4.9
	決勝	G・R1	7.23	大分大会	G	4.9
鹿児島大会	準決勝	G・E・R1・FM	7.18	佐賀大会	G	4.9
	決勝	G・E・R1	7.20	沖縄大会	G	4.9
宮崎大会	準決勝	G・E・R1	7.22	[Bリーグ (B1)]		
	決勝	G・R1	7.23	「琉球」対「名古屋」	G	5.3
大分大会	準決勝	G・E・R1	7.23	「琉球」対「渋谷」	G	9.29
	決勝	E・FM	7.25	[全国高校駅伝各県予選] (各県域)		
佐賀大会	準決勝	G・E・R1	7.22	福岡県	R1	11.5
	決勝	G・R1	7.23	長崎県	R1	11.2
沖縄大会	準決勝	G・E・R1	7.15	鹿児島県	R1	11.2
	決勝	G・R1	7.16			
第141回九州地区高校野球大会 (宮崎)						
	準決勝, 決勝	R1	10.27, 30			
	熊本大会	R1	10.7			
	長崎大会	R1	10.7~8			
	鹿児島大会	R1	10.6~7			
	宮崎大会	R1	9.30~10.1			
	大分大会	R1	10.1			
	佐賀大会	R1	9.30~10.1			
(県域)						
第65回NHK杯高校野球 長崎県大会						
	決勝	R1	6.11			
第59回NHK旗争奪鹿児島県選抜高校野球大会						
	準決勝	R1	5.26			
	決勝	R1	5.27			
〔プロ野球〕(九州・沖縄ブロック)						
	「ソフトバンク」対「楽天」	G	4.21			
	「ソフトバンク」対「阪神」	G	6.9			
	「ソフトバンク」対「日本ハム」	G	6.29			
	「ソフトバンク」対「ロッテ」	G	8.25			
	「ソフトバンク」対「楽天」	G	9.1			
パ・リーグCSファイナルステージ第3戦						
	「ソフトバンク」対「楽天」	R1	10.20			
〔サッカー Jリーグ (J1/J2)] (各県域)						
	「福岡」対「名古屋」	G	6.17			
	「大分」対「山形」	G	11.5			
	「大分」対「徳島」	G	11.11			
	「熊本」対「金沢」	G	11.11			
	「鳥栖」対「東京」	G	11.18			
	「鹿児島」対「FC東京U-23」	G	11.26			
	「福岡」対「京都」	G	3.3			
	「大分」対「山形」	G	3.4			
〔各県サッカー選手権大会決勝〕(各県域)						
	福岡大会	G	4.9			
	熊本大会	G	4.2			
	長崎大会	G	4.2			

## II. 技 術

### 1. 緊急・災害報道への取り組み

17年度は九州北部豪雨(7月)、新燃岳噴火(10月、3月)、沖縄米軍ヘリおよび佐賀自衛隊ヘリ墜落などさまざまな緊急報道に対応した。

九州北部豪雨では福岡・大分両県の被災地から昼夜を問わず衛星中継車による中継を実施し、道路の寸断や河川の氾濫で通行不可能な現場には可搬型衛星伝送装置を持ち込み中継伝送を行った。また、氾濫水域の河川には太陽光無停電カメラを設置して監視態勢を強化した。

新燃岳噴火では火山を取り囲むように高感度カメラや赤外線カメラを設置し、噴火の兆候を24時間監視できる態勢を構築し減災報道につなげた。

南北に長く、離島が多い九州・沖縄地域では、取材用ヘリコプターを3か所の空港(福岡・鹿児島・沖縄)に配置し、自然災害や事件・事故への迅速な対応に向けて、報道と連携した警戒体制を敷いた。

IP伝送技術の発達で可能となった、機動性に優れた機材を用いた取材など最新技術を駆使した減災報道や緊急報道に取り組んだ。

### 2. 視聴者の期待や信頼に応える番組制作

地域を舞台としたドラマ制作、地元アスリートの活躍やスポーツの感動を届ける中継、視聴者参加の公開番組、歴史・伝統・文化を伝える特番など、地元で暮らす人々の元気と情熱を発信する質の高い番組の制作と送出に取り組んだ。

通算15作目となる『福岡発地域ドラマ「You May Dream」』を制作し、3月2日に九州・沖縄ブロックで放送した。また、佐賀局制作『ガタの国から〜佐賀発地域ドラマ〜』を4K制作し7月

19日にBSPで放送し、北九州局制作『GO!GO!フィルムタウン～北九州発地域ドラマ～』を10月18日にBSPで放送した。3作品とも地元に着した内容で地域の魅力を全国に発信した。

6月23日『沖縄全戦没者追悼式』、8月9日『長崎平和祈念式典』の中継は国際放送でも伝え、平和への願いを世界に向けて伝えた。

天皇皇后両陛下の鹿児島や沖縄への離島訪問では、衛星中継車を各離島に送り込んで伝送体制を整え、現地の人とのふれあいの様子を伝えた。

7月に世界遺産登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の関連番組を通じて沖ノ島の神秘的な歴史、自然を国内外に発信した。

10月の衆議院選挙や、注目を集めた18年2月の名護市長選では選挙放送の安定送出に努め、開票速報特番と事務所中継を無事故で対応した。

プロ野球では、「ソフトバンク」のパ・リーグ優勝と日本シリーズの優勝特番を祝勝会のもようを交えて放送し、監督や選手たちの喜びを伝えた。

年末の『ゆく年くる年』は九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市の南湊寺から薬師如来像の柔らかな表情を厳かな照明で表現し、復興へ向けた思いを全国に発信した。

熊本地震をテーマにした『ETV特集』や『新日本風土記』『NHKスペシャル』などの番組では、被災地の現状や成長していく若者などを丁寧に描いた。

九州北部豪雨で被災した東峰村は16年度制作の『福岡発地域ドラマ「たからのとき」』の舞台であり、被災した現状を取材して『もうひとつのたからのとき』と題した復興支援番組を制作し、ドラマ制作に関わった多くの村民の思いを全国に発信した。

### 3. 新サービスへの取り組み

四季折々の花が咲く博多湾の能古島。島の美しい自然と花畑を守るおばあちゃんの姿を1年を通して4Kカメラで撮影し、季節ごとに特番として放送した。

屋久島の幻想的で豊かな自然と巨大屋久杉を4Kカメラの高精細な映像で撮影。夏休み中の8月、『大搜索ドキュメント! 屋久島“伝説の超巨大杉”』として総合テレビで全国放送。11月にSHV試験放送でも放送した。

8K制作にも積極的に取り組み、技術提案で9月の阿蘇市『NHKのど自慢』で8K収録したものを熊本局ロビーの大画面で公開した。また、福岡局の会館公開用コンテンツとして、18年3月の

音楽番組『サクライブ』を3台の8Kカメラで収録した。

17年度に始まったFM公開番組『がめにラジオ』では、音楽を通して聴取者との結び付きを強化するとともに、番組進行に合わせて360°見渡せるカメラ映像を番組ホームページへ1枚ずつ公開した。さらに『中継スペシャル 大濠花火大会』でもこの360°カメラを用いて、番組に連動したサービスを行った。

このほか、18年12月の新4K8K衛星放送開始に向けて九州・沖縄各県の10か所で電気業界向けの技術セミナーを実施した。

### 4. 放送設備の整備と機能強化

東京・渋谷の放送センターと全国のNHK放送局をつなぐテレビの配信回線を更新した。放送局間の配信回線が完全二重化され信頼性が向上した。

福岡放送会館では、万が一、停電となった場合でも放送に影響を与えない無停電電源設備を強化整備した。また、老朽化したラジオニューススタジオの副調設備を更新し、設備の安定化を図った。

九州域内では、鹿児島局CSKの更新や建築工事を伴った宮崎局R調の更新、ニュース・番組の送出に欠かせないアート送出サーバの域内6局での更新を行った。

放送設備の信頼性向上を図るため、域内の老朽化したテレビ・ラジオ・FM中継放送所の送信機更新やNHK共聴72施設の光化工事を完了し設備の基盤強化に努めた。

また、南海トラフ地震による津波で浸水被害が予想される延岡局、夜間の中波難視聴改善を図る徳之島局・五ヶ瀬局のFM補完局（プログラムは中波）3局を開局した。さらに、熊本地震で被災した放送所は南阿蘇局の移転と南阿蘇高森局の新設により恒久対策を完成させた。

### 5. 電波確保と良質な受信環境整備

7月に発生した九州北部豪雨により福岡・大分県の多くの中継局で停電が発生した。特に大きな被害を受けた福岡県の宝珠山中継局では、自治体および自衛隊の協力により出向路を確保し、電波の復旧対策に取り組んだ。

4月に九州北部の広範囲で発生した外来電波によるテレビ受信障害では、その原因を特定し放送設備への対策を講じて速やかに障害を改善した。また、外国波混信によるテレビ受信環境改善を図るため、チャンネルリバック（後藤寺局で送信チ



チャンネル変更)を完了した。

その他、鹿児島Rの送信鉄塔支線更新では、従来の連続した夜間放送休止作業を見直し、全国初となる日中減力放送による補修方法を構築し、視聴者へのサービス提供に努めた。

## 6. 安心・安全の拠点 熊本新放送会館運用開始

15年2月から工事を開始した熊本新放送会館は、免震構造を採用し、洪水対策を施すなど災害に強い安心・安全の拠点として、17年6月5日に旧会館から切り替えを実施し運用を開始した。建築中に2度の震度7の地震が発生し、当初予定よりも約1か月遅い切り替えとなったが、熊本市の城下町の景観に溶け込むデザイン性と高い安全性を兼ね備えている。会館設備においては太陽光発電装置の導入や全館でLED照明を採用するなど、一般的な建築物に比べ約30%のCO<sub>2</sub>削減を図った。

また、雑用水に地下水を活用するなど地球環境に配慮した。放送設備においては新しいコンセプトで設備を開発・導入し安定した放送確保と効率的な運用を実現した。

## Ⅲ. 視聴者

### 1. 広 報

17年度、九州・沖縄の各県には、視聴者から電話などで13万6,855件の意見・問い合わせが寄せられた。

#### (1) 番組広報

福岡局では、金曜夜間の情報番組『なるほど実感報道ドドド!』のキャスターが新しくなったことを受け、西鉄福岡駅の大型ビジョンやバスセンターへのポスター掲示などさまざまな広報活動を行った。3月には、福岡出身の実在のロックバンド「シーナ&ロケッツ」をモチーフにした『福岡発地域ドラマ「You May Dream」』を制作し放送。放送するまでの期間、ロケ地での出演者会見やドラマ完成イベントでの出演者トークショー、電車の車体および車内広告、加えてポータルサイトでの15秒広告などの広報活動を展開した。

鹿児島局では『大河ドラマ』『西郷どん』放送開始に向け、ドラマの技術スタッフを講師とした「大河ドラマを10倍楽しむためのセミナー」を実施。さらに、繁華街の大型ビジョンや市電、空港バスのモニターでのPR、出演者によるトークシ

ョーを行った。また、初回放送では市内のホールでパブリックビューイングを行い、約1,100人が集まった。

佐賀局では『ガタの国から～佐賀発地域ドラマ～』の放送に向けて大型連休中に開かれる県下最大級のイベント「有田陶器市」で観光客に向けたPRを行った。また、ロケ地となった嬉野市の温泉観光課の協力を得て、ロケ現場で撮影したVR(バーチャル・リアリティー)動画映像を足湯につかりながら楽しんでもらう試みも行い、2日間で約200人の来場者があった。

#### (2) 地域サービス

福岡局では、5月に恒例の会館公開「NHKどんたく広場2017」を実施。宇宙飛行士や元オリンピック選手のトークショーや新番組『がめにラジオ』の公開収録などを行い、2日間で1万人以上の来館者があった。

北九州局では『GO!GO!フィルムタウン～北九州発地域ドラマ～』の制作にあたり、ドラマのモデルとなった北九州市フィルム・コミッション(FC)と協力し、約1,000人の市民エキストラを募集し、ロケを実施した。また、エキストラの写真撮影し、随時特設ホームページで公開するなどの取り組みも行った。

熊本局では、熊本地震で被害を受けた熊本城内の様子を360°カメラで撮影。そのVR映像の視聴コーナーを5月から7月、熊本市現代美術館に設置した。8月には熊本地震復興支援の一環として『サンドウィッチマンの天使のつくり笑い』の公開生放送を実施し、被災地にエールを送った。

長崎局では、民放4局と協力し「NHK・民放4局番組上映会 テレビが伝えた被爆の記憶 from ナガサキ」を行った。長崎原爆の日に先立ち、各局が制作した被爆・平和関連番組を長崎原爆資料館で8日間にわたり上映、平和の大切さを伝えた。

沖縄局では、沖縄が本土復帰を果たして45年を迎えるにあたり、5月に沖縄県立博物館・美術館で本土復帰以降の沖縄を振り返る写真展を実施、25日間で8,000人近くが来場した。

#### (3) 理解促進活動

福岡局では、再開発が進む福岡局周辺の六本松地区の住民に向け、8月から12月にかけて多様な番組やイベントを集中的に行った。こうした結果、来館者数が16年度に比べ約1割増加した。

開局80年を迎えた宮崎局では、特別番組『宮崎放送局 開局特集「一挙蔵出し!宮崎80年スペシャル」』やイベントなどの「80年特別企画」に取

り組んだ。また、特設サイトには局の歩みや寄稿などの独自コンテンツも掲載した。

NHKスーパーハイビジョン関連では、大分局で白杵市のイベント「うすき竹宵」の中で、8Kコンテンツの上映を行った。また、ピョンチャンオリンピックのSHV受信公開では、福岡局、熊本局、鹿児島局、宮崎局、佐賀局など多くの局で通常の公開方法を変更してオリンピックのまようを伝えた。

## 2. イベント事業

17年度、九州・沖縄地方では、全国放送公開番組をはじめ、教育・福祉・スポーツイベント、食料・環境などのキャンペーン、地域企画イベントなど、さまざまなジャンルのイベントを計227本実施し、30万4,081人の来場者があった。

### (1) 全国・地域放送番組の公開放送

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』などの全国放送公開番組や、『大相撲前夜祭で楽しもう！～大相撲九州場所 直前スペシャル～』『サクラライブ』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で48本実施し、3万7,000人を超える来場者に向けて公開放送した。

### (2) 災害復興支援イベント

熊本局と大分局では、16年4月に発生した熊本地震の被災地復興支援イベントとしてさまざまなイベントを企画した。17年4月には熊本県の益城町と西原村、大分県の由布市で、地元ゆかりの芸人による「お笑いステージ」と「ガラピコぷ～小劇場」を、9月には阿蘇市で『NHKのど自慢』を、10月と11月には「NHK公開復興サポート」と『LIFE!』の公開イベントを熊本市で行った。こうした復興支援イベントを計19本行い、計7,634人の来場者があった。また、福岡局では、17年7月の九州北部豪雨の復興支援イベントとして、18年3月に『新・BS日本のうた』、「NHK福岡落語会スペシャル」「ガラピコぷ～小劇場」を朝倉市で行い、2,644人が来場した。

### (3) 教育・こどもイベント

大分局では「おかあさんといっしょファミリーコンサート」を宇佐市で、長崎局では「あつまれ！ワンワンわんだーらんど」を長崎市で開催し、それぞれ2,000人を超える家族連れでにぎわった。また、九州・沖縄各県で毎年行っている「NHK全国学校音楽コンクール」に247校2万665人、「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」に419校2,848人の児童・生徒が参加した。番組作りを通して小学生に放送の仕組みを学んでも

らう「NHK放送体験クラブ」には、70校3,292人の児童が参加した。放送番組の学校教育への活用を考える「第66回九州地方放送教育研究大会」を長崎市で開催し、九州・沖縄各県の幼稚園・保育園、小・中・高等学校の教育関係者330人が参加した。

### (4) スポーツ・福祉・キャンペーン

福岡局と大分局では、東京オリンピック・パラリンピックへの期待感を高める参加体験型のスポーツイベントや、障害のある人が書いた詩を著名人がアートで表現する福祉イベント「NHKハート展」を福岡市と大分市で開催し、合わせて1万2,548人の来場があった。そのほか各放送局では、食料、環境、防災など放送局独自の視点で地域の課題を取り上げたキャンペーンイベントを実施した。

### (5) その他（展覧会）

「第64回日本伝統工芸展」

(18.2.2～7) 8,324人

## 3. 営業

17年度においては、年度を通じて拠点局・各局が連携し、27社のエリア型法人、5地区の公募型法人との新たな契約締結に至るなど、訪問要員体制の構築に向けて精力的に取り組むとともに、新規法人事業者の定着化を目的とした育成寄宿も定期的に実施した。また、訪問要員減少傾向に備え、下半期より実施した域内独自ポスティング対策も功を奏し、安定した業績確保につながった。さらに、12月6日の最高裁判決以降、契約収納業務の追い風により、16年度は熊本地震の影響などで成し得なかった、ブロック全体での全営業目標達成を果たすことができた。

また、未契約世帯に対する民事訴訟の提訴を鹿児島県と宮崎県において初めて実施、未契約の困難事業所に対しては、民事調停とリンクさせつつ最終的な手段として民事訴訟の提訴によって契約適正化を実現させるなど、業務の高度化を一段と進めた。

放送と営業が連携した「ターゲット80活動」については域内各局でBS番組と連動した活動を全局体制で取り組んだ。『ガタの国から～佐賀発地域ドラマ～』『GO!GO!フィルムタウン～北九州発地域ドラマ～』などの番組を通して地元ケーブルテレビ事業者と連携を強化し、衛星受信者普及と衛星取り次ぎ向上を図ることができた。